

広島大学図書館年次報告
2021（令和3）年度

1. 学習／学修支援	
1－1. 図書館資料の整備	p.2
1－2. 図書館資料の活用	p.7
1－3. 図書館資料の効果的利用	p.9
1－4. 図書館施設の整備	p.14
1－5. 図書館施設の活用	p.17
1－6. 図書館の活用を促す取り組み	p.20
2. 研究支援	
2－1. 電子的学術情報資料の整備	p.24
2－2. 電子的学術情報資料の活用	p.25
2－3. 学術情報リポジトリ	p.26
2－4. 広島大学出版会	p.26
2－5. ライティングセンター	p.27
3. 社会貢献	
3－1. 学外者の利用	p.30
3－2. デジタルアーカイブ	p.30
3－3. 地域・国際交流プラザ	p.31
3－4. 講演会	p.31
4. 管理運営等	
4－1. 組織運営	p.33
4－2. 図書館運営会議	p.33
4－3. 予算決算	p.34
4－4. 広島大学図書館活動助成金	p.34
4－5. 職員数	p.35
4－6. 施設設備	p.36
4－7. 他の図書館等との連携	p.36
5. その他	
5－1. 2021年度の主な動き	p.37
5－2. 理念と目標	p.37
5－3. 沿革（抄）	p.38

2023年3月
広島大学図書館

1. 学習／学修支援

1-1. 図書館資料の整備

図書館の蔵書数は、2021年度末現在で3,441,829冊であり、その68%にあたる2,335,339冊を5館に分けて収容しており、残り1,106,490冊が研究室等に配置されている。また、所蔵している雑誌の種類数（タイトル数）は、58,874種類（タイトル）である。

蔵書数		図書			雑誌（種類数）		
		計	和書	洋書	計	和	洋
東 広 島	中央	2,287,974	1,459,702	828,272	41,645	24,244	17,401
	東	251,114	133,121	117,993	7,559	4,562	2,997
	西	644,208	387,339	256,869	3,829	1,526	2,303
広 島	霞	190,452	114,322	76,130	4,828	3,551	1,277
	東千田	68,081	65,862	2,219	1,013	801	212
計		3,441,829	2,160,346	1,281,483	58,874	34,684	24,190

図書館 収容冊数		開架冊数		閉架冊数	総冊数	図書館収容総 冊数／蔵書数
			うち参考資料			
東 広 島	中央	1,175,837	12,146	463,577	1,639,414	72%
	東	153,593	0	0	153,593	61%
	西	412,669	5,495	1,588	414,257	64%
広 島	霞	61,636	445	4,306	65,942	35%
	東千田	62,133	1,305	0	62,133	91%
計		1,865,868	19,391	469,471	2,335,339	68%

※中央図書館の閉架冊数は自動書庫及び貴重資料室などに収容されている冊数。B2F 書庫は開架書庫としている。

図書受入数		図書受入数			除籍数			電子書籍 受入数	
		合計	和	洋	合計	和	洋		
東 広 島	中央	15,285	12,035	3,250	14,852	8,715	6,137	国内	497
	東	829	313	516	19,175	14,104	5,071	海外	267
	西	2,265	2,070	195	5,094	3,956	1,138	計	764
広 島	霞	2,010	1,870	140	1,393	781	612		
	東千田	1,299	1,269	30	18	18	0		
計		21,688	17,557	4,131	40,532	27,574	12,958		

2021年度の図書受入数は21,688冊、電子書籍は764点、雑誌受入数（電子ジャーナルを含まない）は3,866種類（タイトル）、視聴覚資料の受入は14点であった。一方、汚損・破損・紛失・重複等の理由によって除籍した資料は40,532冊であり、結果として蔵書数は18,844冊減少した。

図書受入数の内訳		購入			寄贈			その他		
		小計	和	洋	小計	和	洋	小計	和	洋
東広島	中央	8,688	7,269	1,419	5,067	3,863	1,204	1,530	903	627
	東	177	95	82	214	94	120	438	124	314
	西	1,922	1,882	40	223	130	93	120	58	62
広島	霞	1,261	1,198	63	239	229	10	510	443	67
	東千田	1,013	1,001	12	141	131	10	145	137	8
計		13,061	11,445	1,616	5,884	4,447	1,437	2,743	1,665	1,078

雑誌受入種類数		雑誌受入種類数			購入			寄贈		
		合計	和	洋	小計	和	洋	小計	和	洋
東広島	中央	2,576	1,997	579	1,472	938	534	1,104	1,059	45
	東	240	173	67	123	61	62	117	112	5
	西	207	144	63	206	143	63	1	1	0
広島	霞	578	474	104	290	193	97	288	281	7
	東千田	265	248	17	166	150	16	99	98	1
計		3,866	3,036	830	2,257	1,485	772	1,609	1,551	58

新聞受入種類数		新聞受入種類数			購入			寄贈		
		合計	和	洋	小計	和	洋	小計	和	洋
東広島	中央	20	14	6	18	12	6	2	2	0
	東	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西	10	9	1	10	9	1	0	0	0
広島	霞	14	12	2	8	6	2	6	6	0
	東千田	9	6	3	8	5	3	1	1	0
計		53	41	12	44	32	12	9	9	0

※複数の館で同じ新聞（例えば朝日新聞は4館）を受け入れていることがある。図書館で53種類の新聞を受け入れているというわけではない（33種類を受け入れている）。

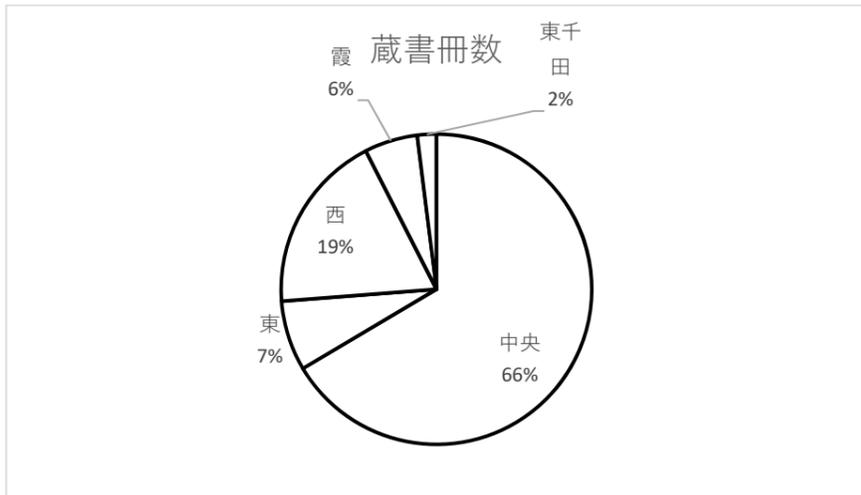


図1-1.図書館別蔵書冊数の比率

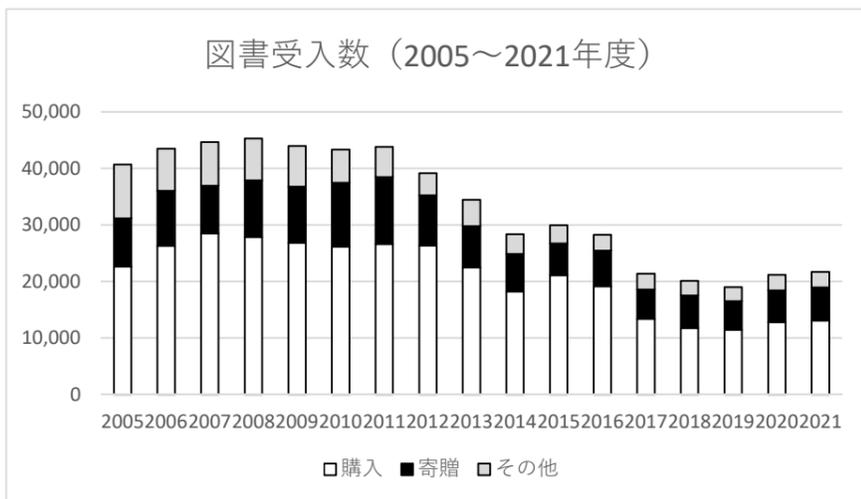


図1-2.図書受入数 (2005-2021年度)

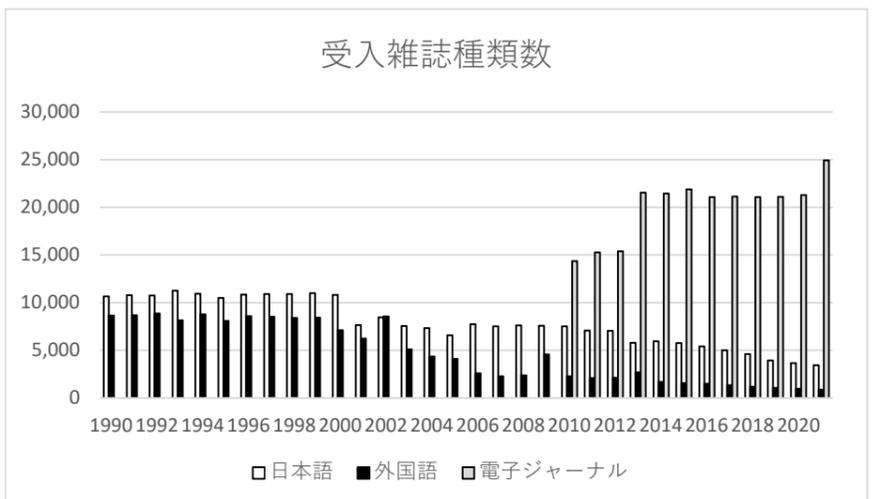


図1-3.受入雑誌種類数 (1990-2021年度)

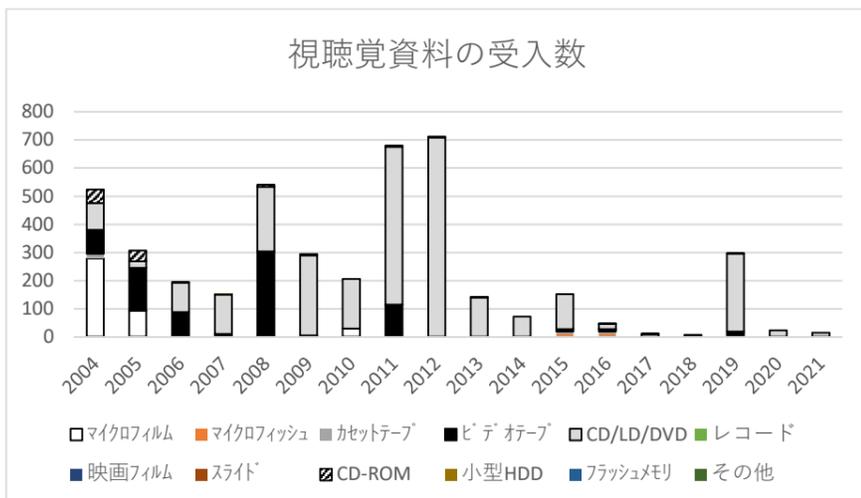


図1-4.視聴覚資料受入数 (2004-2021年度)

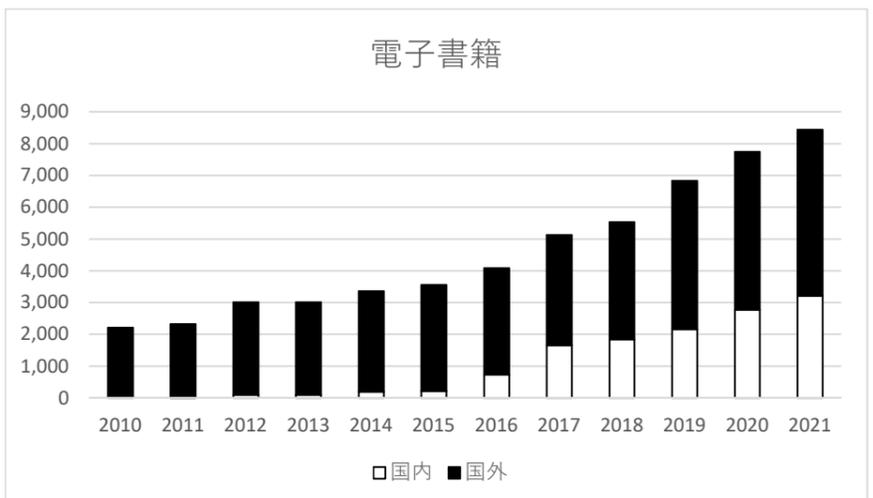


図1-5.電子書籍利用可能点数 (2010-2021年度)

図書館で購入する資料は、図書館運営会議の下に資料選定のための4つの専門部会（人文・社会科学系専門部会、教育科学系専門部会、自然科学系専門部会、生命科学系専門部会）及び資料選定事務部会を設置し、そこで選定するとともに、学部学生、大学院生及び教員からのリクエストを随時受け付けることで、多様な視点に基づいた資料が必要に応じて整備されるようにしている。

各図書館には、各キャンパスの学部構成や学部の配置に応じて資料を配置している。

- ・中央図書館 人文・社会科学分野（教育科学を含む）、自然科学分野（理系）及び学際分野。自動書庫には出版後10年が経過し、利用が減少した資料を配置
- ・東図書館 自然科学分野
- ・西図書館 教養的教育分野、自然科学分野（工学系、農林水産学系）
- ・霞図書館 生命科学分野
- ・東千田図書館 法学、経済学分野、教養的教育分野

近年、電子書籍の導入に力を入れている。2021年度は国内書籍497点、海外書籍267点の計764点を整備した。この結果、累計8,437点が利用できるようになった（買い切りの電子書籍の整備）。このほかにデータベース等の一部として利用可能となっている電子書籍が21,888点ある。

また、学生用電子資料として参考資料等を整備しており、利用数は次の通りである。なお、国内の出版社等が提供する利用統計は算出方法が統一されていないので、あくまでも参考に過ぎない。

その他、2021年度に次の整備・トライアル等をおこなった。

- ・医中誌 Web の同時アクセス数を無制限にした。VPN 接続を可能とした（8/20～）。
- ・Maruzen eBook Library 試読サービストライアル実施（9/27～3/26）
- ・Wiley Online Books トライアル実施（11/8～5/8）
- ・研究力分析ツール SciVal（サイバル）導入（2/1～）

学生用電子資料	利用数	摘要
ジャパンナレッジ Lib + 日本歴史地名大系、国史大辞典、新編国歌大観、角川日本地名大辞典	137,153	閲覧回数 同時アクセス4
Westlaw Japan（新日本法規出版）	23,749	検索回数
研究者オンラインディクショナリー(KOD)	891	ログイン回数 同時アクセス5
雑誌記事索引集成 DB（皓星社）	1,074	検索回数 同時アクセス1

理科年表プレミアム	74	ログイン回数
中国新聞 plus 日経テレコン中国新聞コース	10,030	記事ダウンロード数 同時アクセス 2
朝日新聞聞蔵 II ビジュアル for Libraries	28,824	記事ダウンロード数 同時アクセス 2
日経テレコン 21	91,256	記事ダウンロード数 同時アクセス 3
毎索 (毎日新聞社データベース)	1,736	ログイン回数 同時アクセス 1
ヨミダス歴史館 (読売新聞記事データベース)	7,726	記事ダウンロード数 同時アクセス 1
20 世紀メディア情報データベース (占領期の雑誌・ 新聞情報 1945-1949)	-	統計なし
Essay and general literature index	6,370	検索回数 同時アクセス 1
NAXOS MUSIC LIBRARY	6,993	ログイン回数 同時アクセス 5
Web OYA-bunko 教育機関版 (大宅壮一文庫)	89	ログイン回数 同時アクセス 1

図書館の蔵書の分類別冊数は次の通り (原則として日本十進分類法=NDC で分類)。蔵書目録のデータ化の進捗率が約 80% (未遡及冊数が約 64 万冊) であるため、あくまでもおおよその数字となるが、各館が担当する部局等の蔵書の特徴がよくあらわれている。

分類別冊数		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術
東 広 島	中央	78,733	97,946	176,788	497,156	141,858	44,503
	東	5,830	366	725	2,818	36,462	50,169
	西	17,594	39,407	43,977	101,884	76,111	31,812
広 島	霞	554	897	345	2,655	56,188	677
	東千田	1,715	3,299	3,175	37,201	5,401	2,333
計		104,426	141,915	225,010	641,714	316,020	129,494

分類別冊数		産業	芸術	言語	文学	その他	合計
東 広 島	中央	36,057	47,813	46,634	116,481	109,906	1,393,875
	東	13,327	690	498	779	220	111,884
	西	13,064	20,662	31,200	94,933	269	470,913
広 島	霞	183	849	583	953	124	64,008
	東千田	2,239	1,603	2,033	3,097	144	62,240
計		64,870	71,617	80,948	216,243	110,663	2,102,920

※「総記」は、哲学から文学までの分類のいずれにも該当しないもの。

※「その他」は、教科書などNDCを用いて分類していないもの。

1-2. 図書館資料の活用

広島大学の学部学生数は 9,857 名、大学院生数は 3,820 名（いずれも収容定員数）である。図書館の資料貸出冊数に占める学生の割合は全体の 83%である。2021 年度の図書の貸出冊数は 157,929 冊であり、昨年度より増加した。なお、2019 年度より貸出冊数の計算方法を変更している（2018 年度までは「貸出」のみ、2019 年度以降は「貸出」+「更新」）ため、東図書館の改修(2019 年度に約 9 カ月休館)、西図書館の改修(2019 年度に約 3 カ月休館)、霞図書館の改修(2019 年度に約 2 カ月休館)が図書の貸出冊数に与えた影響はわからない。

図書館別の貸出冊数では、全体の 67%を中央図書館が占めている。利用者別では貸出冊数の 83%、貸出人数の 84%を学生（学部学生及び大学院生）が占めている。

電子書籍の利用件数は順調に伸びている。ただ、電子書籍の利用統計は海外製品と国内製品とで算出方法が異なる。海外製品は図書の章あるいは節のダウンロード回数であり、国内製品（買い切りの電子書籍）は書籍へのアクセス回数（書籍を開いた回数に相当すると思われる）である。また、国内の電子書籍の利用統計は出版社によって算出方法が異なること、トライアル期間の利用件数を含んでいることから、図書の貸出回数と電子書籍の利用回数とを単純に比較することは適切ではない。

学生用電子資料の利用状況は前項に記載した通りである。

利用者数		合計	学内者			学外者利 用登録数
			小計	学生	教職員	
東 広 島	中央	8,600	8,359	7,032	1,327	241
	東・西	5,410	5,410	4,995	415	-
広 島	霞	4,899	4,802	3,025	1,777	97
	東千田	711	610	549	61	101
計		19,620	19,181	15,601	3,580	439

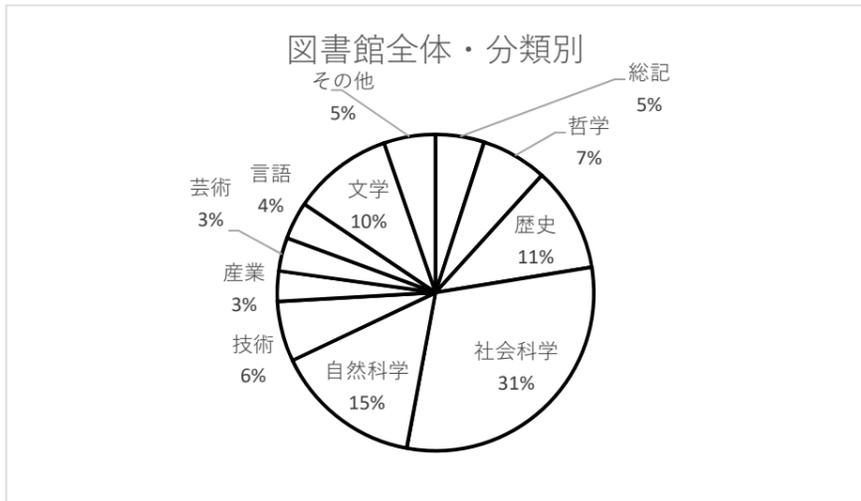


図2-1.図書館5館の分類別蔵書構成

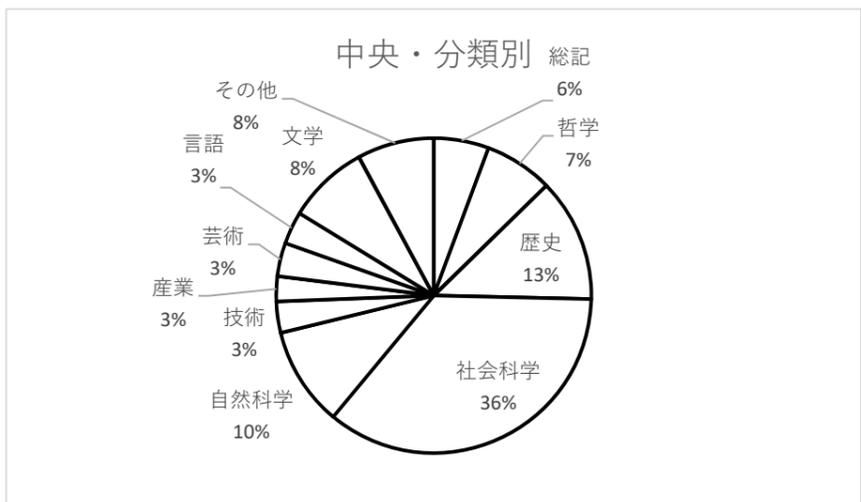


図2-2.中央図書館の分類別蔵書構成

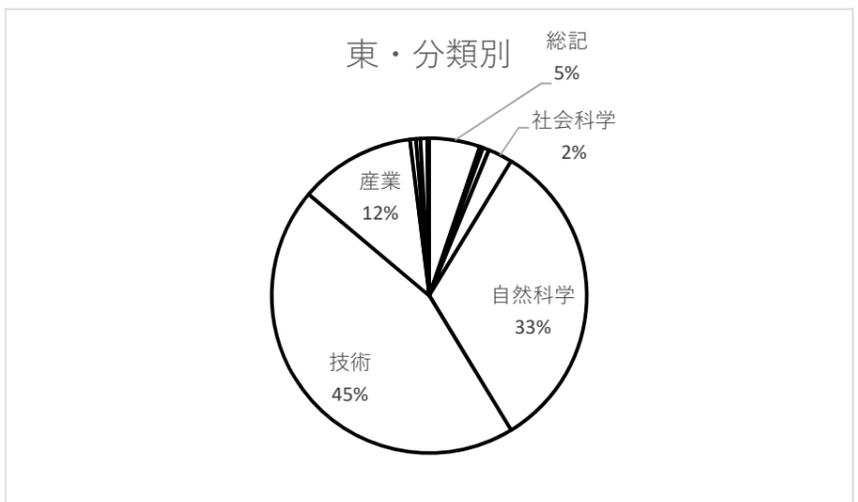


図2-3.東図書館の分類別蔵書構成

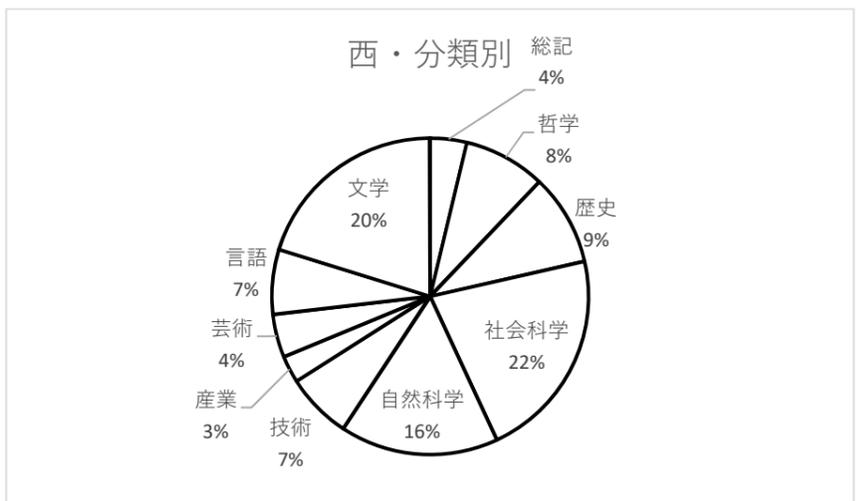


図2-4.西図書館の分類別蔵書構成

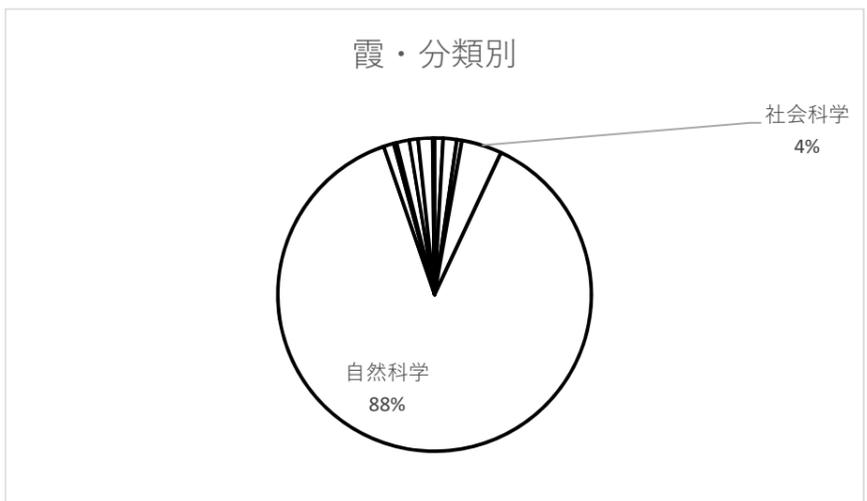


図2-5.霞図書館の分類別蔵書構成

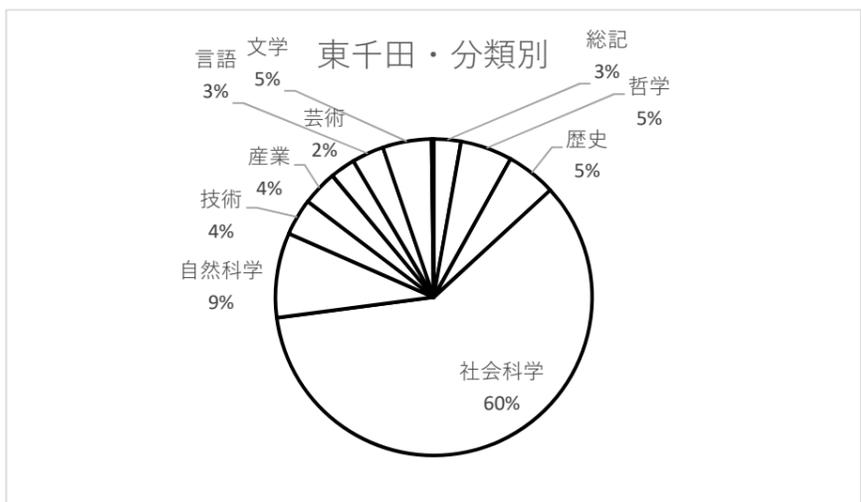


図2-6.東千田図書館の分類別蔵書構成

貸出		貸出冊数				貸出人数			
		合計	学生	教職員	学外者	合計	学生	教職員	学外者
東 広 島	中央	105,777	89,272	13,359	3,146	45,859	38,962	5,657	1,240
	東	532	446	65	21	345	284	53	8
	西	34,508	30,071	3,768	669	16,090	14,211	1,589	290
広 島	霞	10,785	7,484	3,008	293	5,843	4,263	1,466	114
	東千田	6,327	3,985	1,513	829	2,929	2,003	648	278
計		157,929	131,258	21,713	4,958	71,066	59,723	9,413	1,930

分類別和洋別貸出冊数（2021年度）

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術
和	6,074	12,466	10,994	42,867	33,856	6,682
洋	194	626	350	1,450	1,086	117
計	6,268	13,092	11,344	44,317	34,942	6,799

	産業	芸術	言語	文学	その他	計
和	2,600	6,645	10,058	17,701	1,482	151,425
洋	32	186	1,738	603	122	6,504
計	2,632	6,831	11,796	18,304	1,604	157,929

1-3. 図書館資料の効果的利用

1-3-1. 図書館業務システム

図書館業務は大幅に電算化されている。1972年4月に電算機による業務の一部機械化が開始されて以降、1976年に逐次刊行物処理、1983年9月に図書所蔵情報のオンライン検索サービス開始、1985年に貸出返却、1987年4月にNACSIS-CATへの接続をおこない、1991年には図書館パッケージシステムを導入した。NACSIS-ILL開始（1994年4月）、蔵書目録（OPAC）のインターネット公開（1995年10月）に続き、ウェブサイトの公開（1996年8月）、各種申込機能等のウェブ化（貸出図書の状況照会・図書予約申込みを1999年5月開始、各種申込機能等を「Webリクエスト」の総称で2003年11月開始）、自動貸出機の設置（2004年4月）、広島大学学術情報リポジトリの公開（2006年10月）をおこなった。また、2000年から貴重資料のデジタル化を開始し、中国五県土地租税資料、奈良絵本をはじめとするデジタルコレクションを作成してきた。2022年3月にはデジタルアーカイブのIIIF対応を進めている。

図書館はウェブサイトから様々なシステムを提供しており、利用者は自宅などからこれ

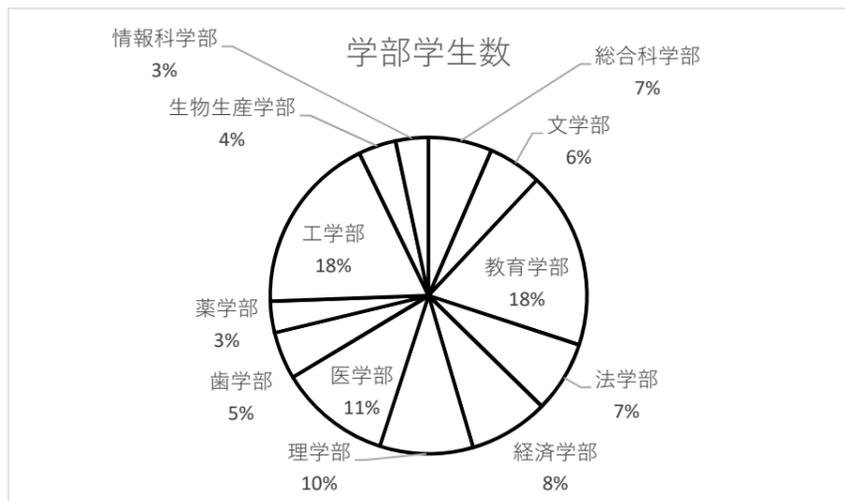


図3-1.学部学生の構成（収容定員）

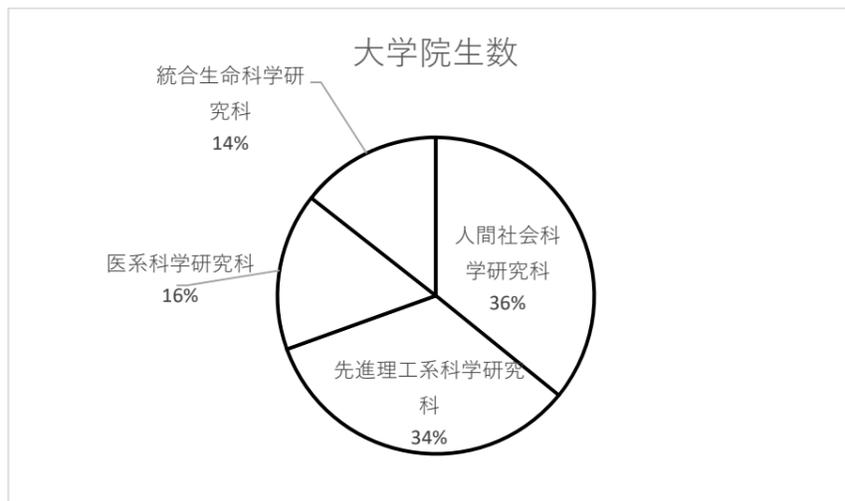


図3-2.大学院生の構成（収容定員）

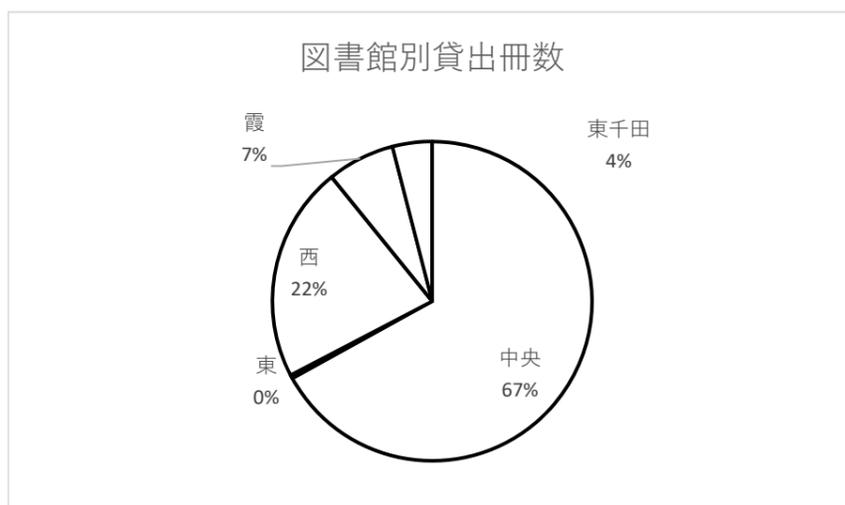


図3-3.貸出冊数の構成（図書館別）

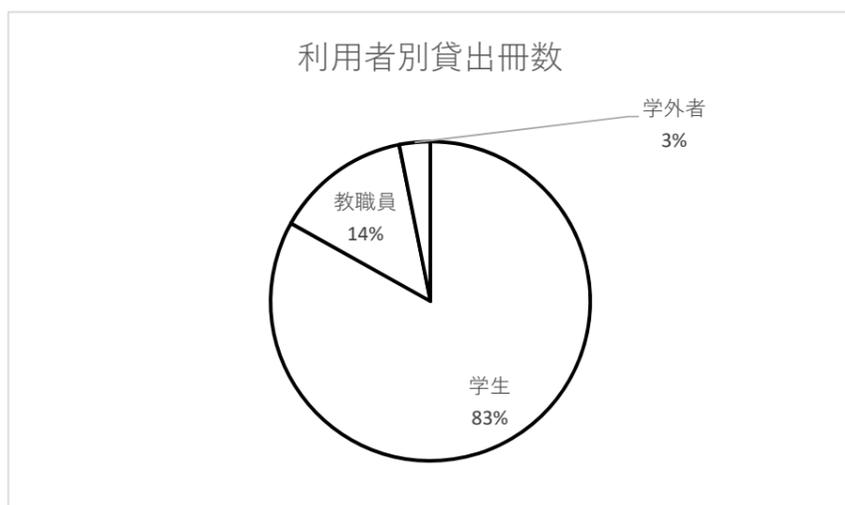


図3-4.貸出冊数の構成（利用者別）

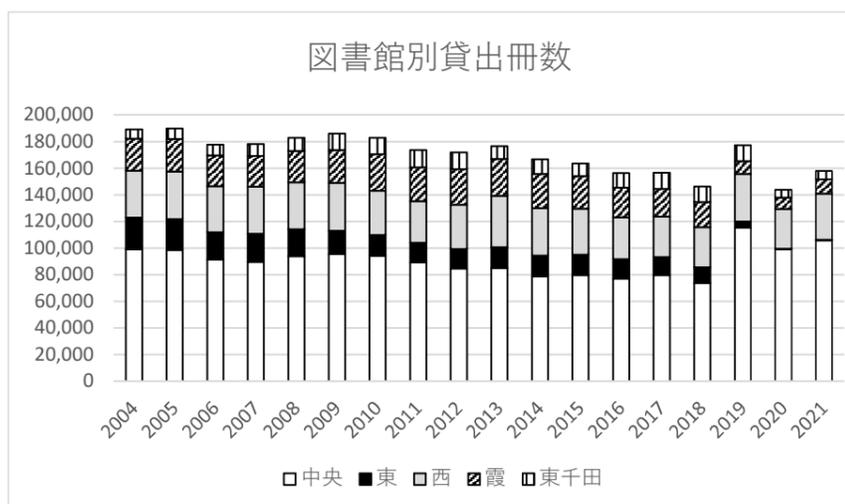


図3-5.図書館別貸出冊数（2004-2021年度）

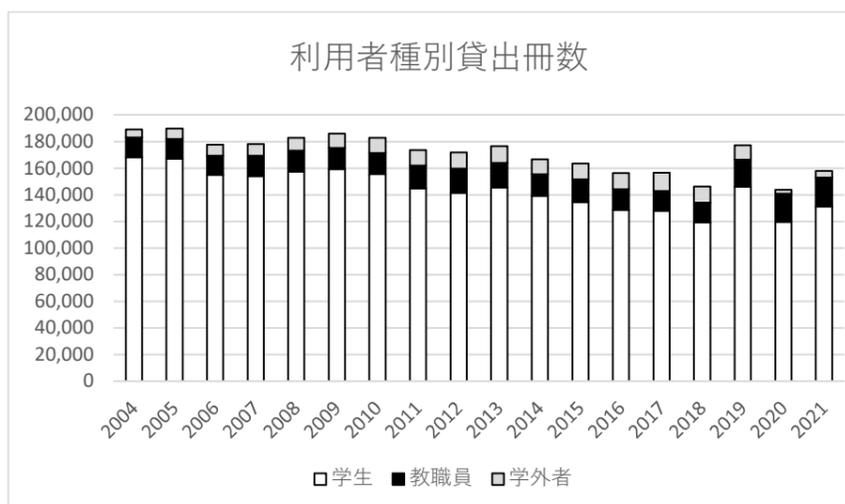


図3-6.利用者種別貸出冊数（2004-2021年度）

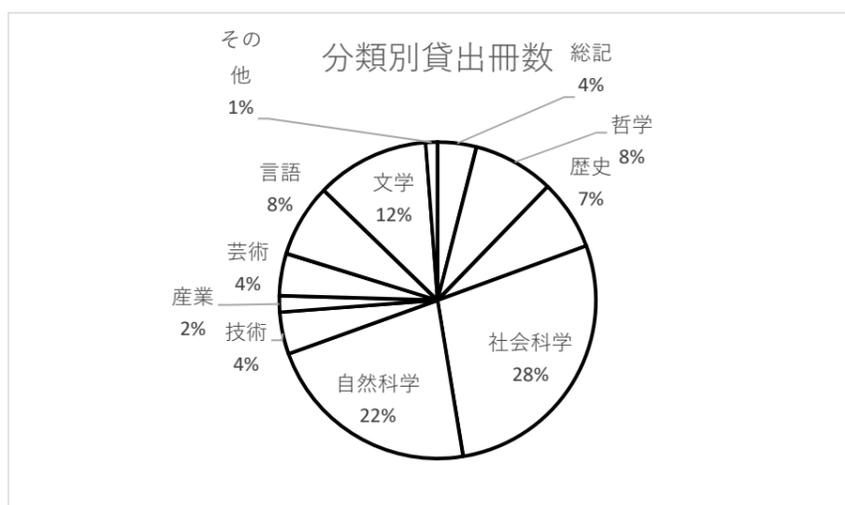


図3-7.貸出冊数の構成（分類別）

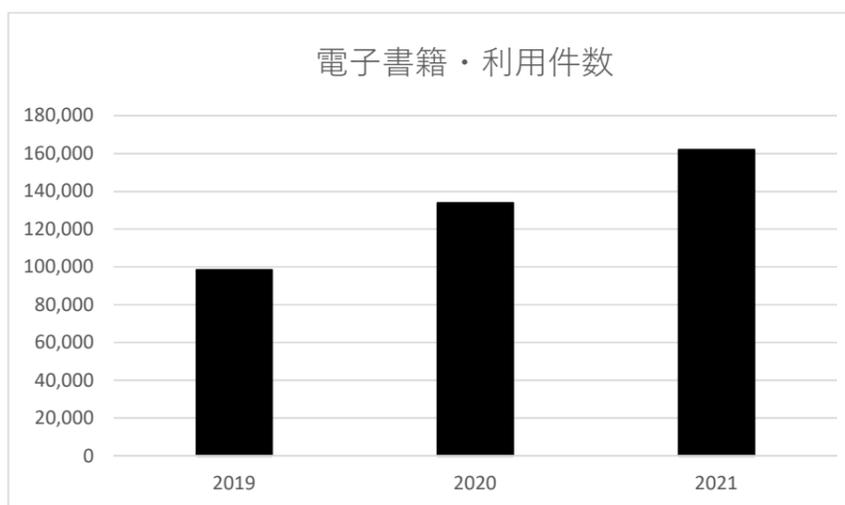


図3-8.電子書籍利用件数（2019-2021年度）

らの機能を24時間いつでも利用することができる。それぞれの利用状況は次の通り。

	2020年度	2021年度
蔵書目録検索回数	1,513,327	1,529,471
「利用状況・貸出更新」の利用回数	48,784	56,202
ウェブからの貸出更新利用回数	17,378	21,099
ウェブからの貸出更新冊数	40,460	44,232
「文献複写申込」「図書借用申込」利用回数	5,663	5,843
「新規購入依頼」利用回数	755	732
「ブックマーク」利用回数	7,243	8,665
「お気に入り検索」利用回数	166	181
「レビュー履歴」利用回数	161	473
「タグ履歴」利用回数	81	111

1-3-2. 蔵書目録と遡及入力

図書館資料が効果的に利用できるように、図書館では蔵書目録（OPAC）のデータ整備を進めている。2021年度末現在で遡及入力（これまでに受け入れた資料のデータ入力）の進捗状況は82%であり、図書館に所蔵する特別資料等（約32,000冊）、研究室等に所蔵されている資料の半数以上（約604,000冊）の約64万冊が未入力となっている。

2021年度の遡及入力冊数は次の通り。

		計	和	洋
東 広 島	中央	24,731	12,679	12,052
	東	184	108	76
	西	132	60	72
広 島	霞	183	115	68
	東千田	0	0	0
計		25,230	12,962	12,268

1-3-3. 学内の他の図書館の利用

学内の他の図書館に所蔵している資料や資料の複写物を最寄りの図書館に取り寄せることができる。また、借りた本は学内のどの図書館でも返却することができる。このために5館の間を結ぶ連絡便を運行している。広島（霞キャンパス・東千田キャンパス）・東広島キャンパス間は週3日、東広島キャンパス内は週5日運行しており、2021年度の運搬冊数は図書30,805冊であった。

また、購入手続き等が完了した後の研究室等への配送冊数（※1）、受入手続き後の雑誌

の各館・研究室等への配送冊数(※2)をあわせると約5万点の資料が移動した計算になる。

※1. 年間購入冊数(2021年度は21,688冊) - 図書館購入冊数(8,118冊) = 13,570冊

※2. 2021年度の雑誌受入種類数=3,866種類のうち、中央図書館以外の図書館に配置しているものが1,290点あり、雑誌の刊行頻度を仮に隔月刊(実際は年刊~週刊)とすれば、 $1,290 \times 6 = 7,740$ 点となる。

他館返却 (2021年度)		到着館					合計
		中央	東	西	霞	東千田	
発送館	中央		117	11,704	259	932	13,012
	東	265		545	11	10	831
	西	3,802	57		76	183	4,118
	霞	542	2	639		280	1,463
	東千田	1,121	5	532	54		1,712
合計		5,730	181	13,420	400	1,405	21,136

予約・取寄配送 (2021年度)		到着館					合計
		中央	東	西	霞	東千田	
発送館	中央		0	326	650	954	1,930
	東	7		27	20	10	64
	西	97	1		660	445	1,203
	霞	308	0	152		52	512
	東千田	1,029	1	179	220		1,429
合計		1,441	2	684	1,550	1,461	5,138

研究室図書の貸借 (2021年度)		依頼館(到着館)					合計
		中央	東	西	霞	東千田	
受付館 (発送館)	中央		0	0	6	38	44
	東	0		0	0	0	0
	西	0	0		0	12	12
	霞	3	0	1		1	5
	東千田	13	0	0	0		13
合計		16	0	1	6	51	74

	中央	東	西	霞	東千田	合計
2021年度受入冊数	5,697	46	2,008	1,155	1,174	10,080

※中央図書館で目録を作成し、各館に配送。

図書館間配送冊数 合計（2021年度）		到着館					合計
		中央	東	西	霞	東千田	
発送館	中央		163	14,038	2,073	3,111	19,385
	東	272		572	31	20	895
	西	3,899	58		737	640	5,334
	霞	859	2	792		333	1,986
	東千田	2,201	6	723	275		3,205
合計		7,231	229	16,125	3,116	4,104	30,805

※「他館返却」＋「予約・取寄配送」＋「研究室図書 of 貸借」×2（往復）＋「受入冊数」
（中央図書館を除く）

1-3-4. 他大学の図書館の利用

広島大学図書館に所蔵していない資料を他大学等の図書館から取り寄せることや資料の文献複写を依頼することができる。2021年度の利用件数は次の通り。

これまで図書館では広島大学生協のICカード電子マネー機能MYple（マイプル）を使った文献複写料等の決済をおこなってきたが、新たに霞図書館で12/13からクレジットカード・ICカード・スマホを利用したキャッシュレス決済を導入した。

図書・雑誌の 貸借（冊数） 2021年度		国内				海外		小計	
		大学図書館		その他		貸出	借受	貸出	借受
		貸出	借受	貸出	借受				
東 広 島	中央	842	844	102	63	0	10	944	917
	東	-	-	-	-	-	-	0	0
	西	191	76	28	1	-	-	219	77
広 島	霞	36	19	18	1	0	0	54	20
	東千田	47	116	16	2	0	0	63	118
計		1,116	1,055	164	67	0	10	1,280	1,132

文献複写 (件数) 2021年度		国内				海外		小計	
		大学図書館		その他		受付	依頼	受付	依頼
		受付	依頼	受付	依頼				
東 広 島	中央	2,163	2,374	74	200	30	19	2,267	2,593
	東	-	-	-	-	-	-	0	0
	西	117	-	26	-	-	-	143	0
広 島	霞	821	783	120	98	1	0	942	881
	東千田	42	317	14	8	0	0	56	325
計		3,143	3,474	234	306	31	19	3,408	3,799

1-3-5. 図書館ウェブサイト

図書館では、1996年8月にウェブサイトを開示し、図書館に関する様々な情報を発信している。ロボット等のアクセスが多いため、ウェブサイトのアクセス統計は作成していない。

1-4. 図書館施設の整備

2021年度末現在の図書館施設は次の通り。5館あわせて26,967㎡のうち、閲覧等の利用のためのスペースが53%、書庫が23%を占めており、事務室及び機械室等のスペースが24%を占めている。総座席数は2,369席だが、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として1,069席（45%）に制限（2021年度末現在）している。

		総延面積	サービス・スペース				管理スペース		その他
			閲覧	視聴覚	情報 端末	廊下 等	書庫	事務	
東 広 島	中央	16,053	6,304	2	0	1,544	4,416	2,215	1,572
	東	1,745	0	0	0	149	890	0	706
	西	6,102	2,752	0	73	993	886	237	1,161
広 島	霞	2,382	1,551	0	7	304	137	152	231
	東千田	685	582	0	15	0	0	69	19
計		26,967	11,189	2	95	2,990	6,329	2,673	3,689

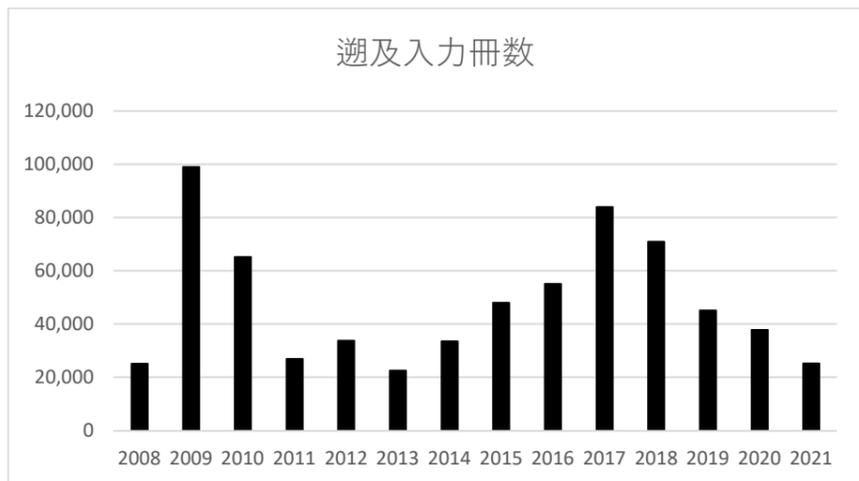


図4-1.遡及入力冊数 (2008-2021年度)

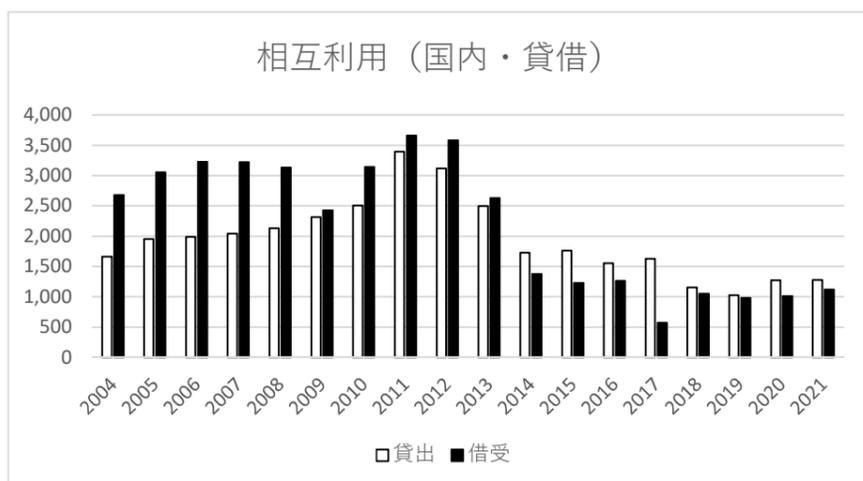


図4-2.現物貸借 (国内)

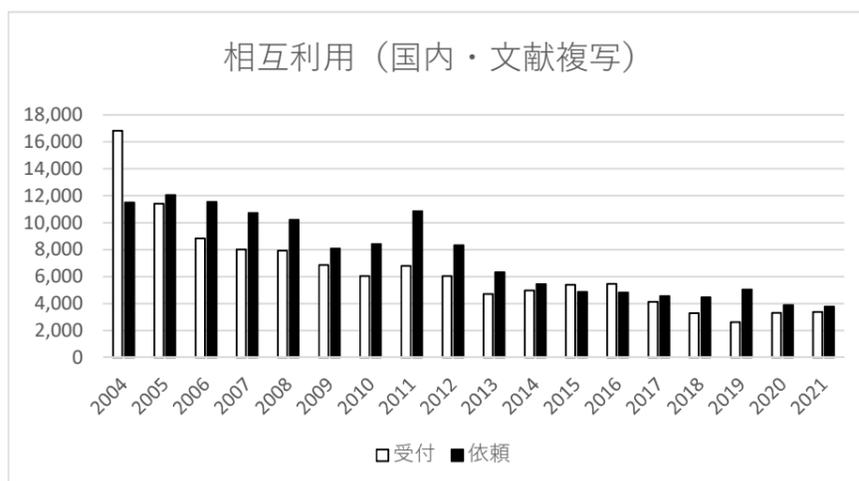


図4-3.文献複写 (国内)

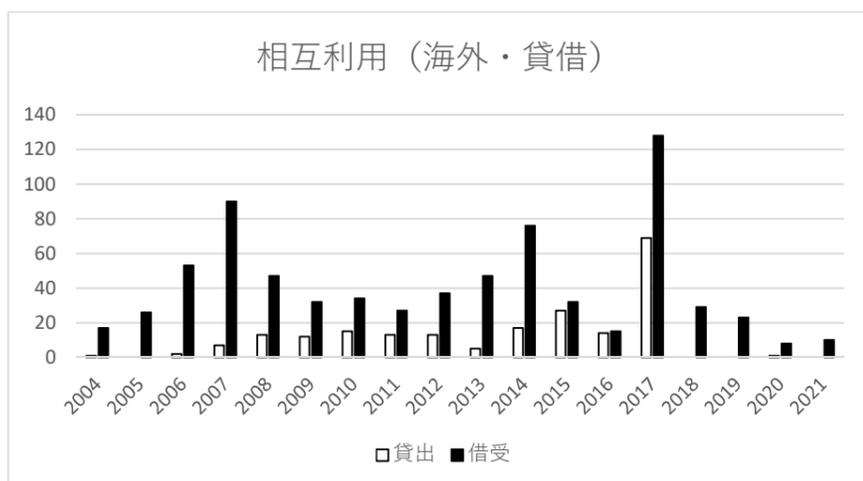


図4-4.現物貸借 (海外)

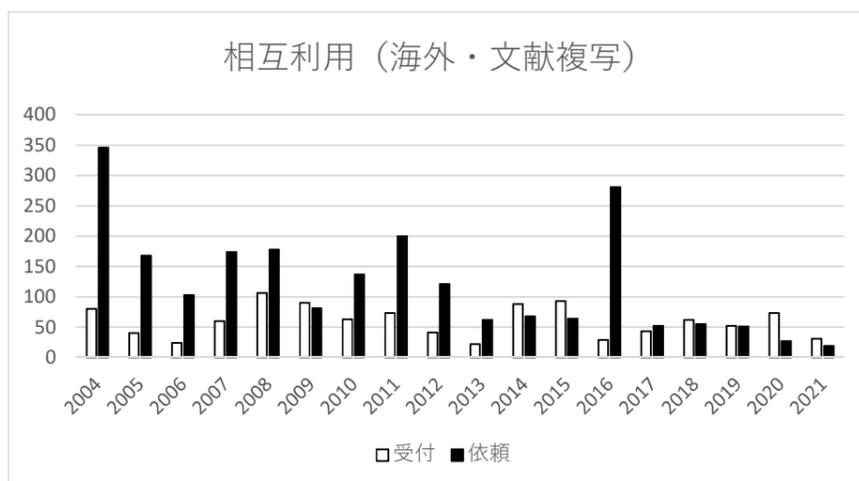


図4-5.文献複写 (海外)

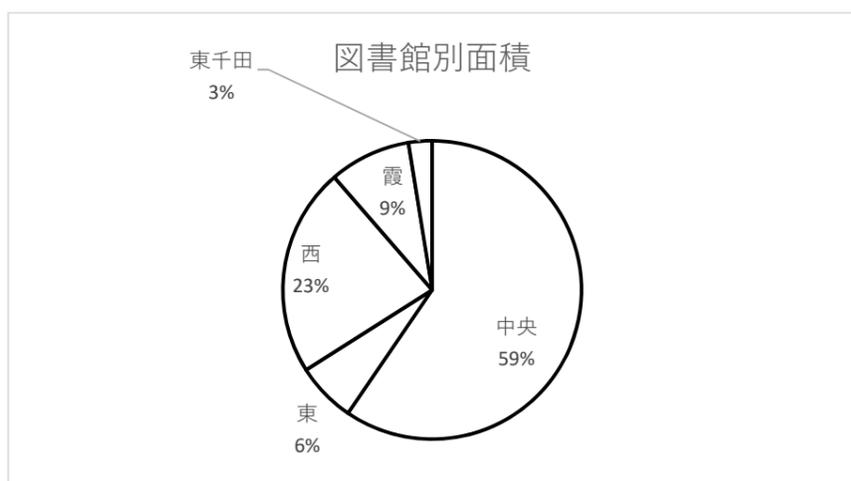


図4-6.図書館別面積

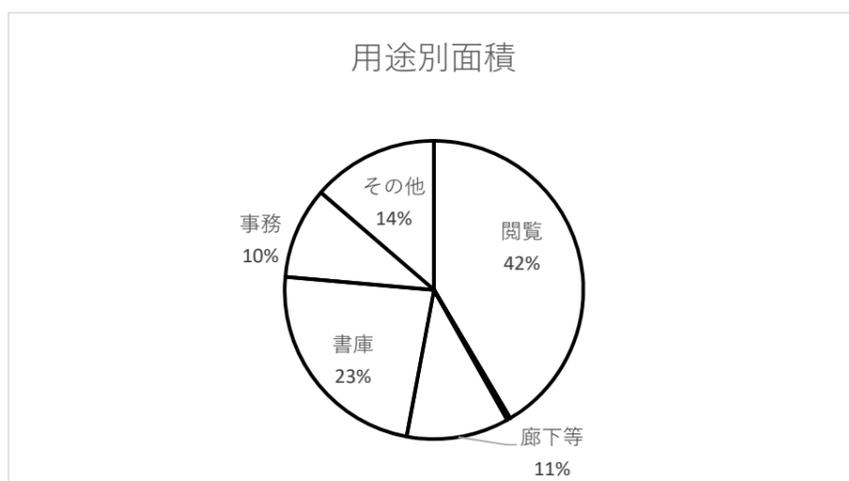


図4-7.図書館・用途別面積

		(通常期)	新型コロナ対応		書架収容力	
		閲覧座席数	閲覧座席数	比率	棚板延長(m)	収容可能冊数
東 広 島	中央	992	524	53%	76,698	2,130,500
	東	29	24	83%	7,614	211,500
	西	882	268	30%	17,160	476,667
広 島	霞	385	216	56%	3,775	104,861
	東千田	81	37	46%	3,548	98,556
計		2,369	1,069	45%	108,795	3,022,083

図書館の資料収容冊数は約 234 万冊であり、図書収容可能冊数（=棚板延長(m)÷0.9×25）が約 302 万冊であることから、計算上の書架使用率は 77%である。数字の上では余裕があるように見えるかもしれないが、図書収容可能冊数は計算上の値に過ぎない。実際は図書を分類順に並べる必要があり、図서가書架に均等に分布しているわけではないこと、蔵書の増加や研究室からの返却資料が全ての分類にわたって一様に分布しているわけではないことから、新たに追加する資料が特定の分類に集中した場合は、全館の配架状態を大幅に調整しなくてはならなくなることもあり、決して余裕があるわけではない。

図書館各館の竣工年などは次の通り。

- ・中央図書館 1992 年度竣工、1995 年度増築、2014 年度自動書庫運用開始
- ・東図書館 1982 年度竣工、2019 年度改修
- ・西図書館 1993 年度竣工、2019 年度改修
- ・霞図書館 1981 年度竣工、2019 年度改修
- ・東千田図書館 2000 年度竣工、2022 年度改修（予定）

2019 年度の改修で、東図書館・西図書館は、情報科学部及び総合科学部国際共創学科設置に伴う学習環境変化への対応のため、西図書館に図書館機能、東図書館に情報メディア機能に特化した整備をおこなった。霞図書館は、資料スペースの確保と学習環境の多様化に対応した整備をおこなった。

各館に設置されているラーニングコモンズ（BIBLA）の面積・席数は次の通り。

- ・中央図書館（2010 年度設置） BIBLA 752 m²・145 席（スタディスペース 95 席・グループスペース 50 席）
- ・東図書館（2009 年度設置・2020 年度拡充） BIBLA East 149 m²・29 席
- ・西図書館（2020 年度設置） BIBLA West 249 m²・102 席
- ・霞図書館（2013 年度設置） BIBLA Kasumi 155 m²・57 席
- ・東千田図書館（2016 年度設置） BIBLA Senda 416 m²・145 席（サイレントゾーン 62

席・アクティブゾーン 83 席)

また、閲覧個室、グループ閲覧室等の設置状況は次の通り。

- ・中央図書館 閲覧個室 26 (内、教員閲覧室 4)、グループ閲覧室 9、ライブラリーホール 1 (126 席)
- ・西図書館 個室 4、グループ閲覧室 13、語学自習室 1 (16 席)

障害者差別解消法への対応として、館内のバリアフリー化を進めており、現在の主な整備状況は次の通りである。施設の改修等、大きな予算措置を必要とするものについては、機会をとらえて改善を図りたい。

バリアフリー 対応		多目的 トイレ	拡大 読書機	車いす 対応机	摘要
東 広 島	中央	○1F	○1F	○1F	対面朗読室 1 室
	東	○2F	-	-	
	西	○2F	○2F	-	
広 島	霞	○1F	-	-	
	東千田	-	○1F	-	

2021 年度は次の整備をおこない、利用環境の改善につとめた。

- ・中央図書館 閲覧室 (1F~3F) カーペットクリーニング及び BIBLA スタディスペース閲覧席の座面クリーニング
- ・中央図書館 閲覧室 (1F~3F) の照明器具を LED に変更
- ・中央図書館 IC カードリーダーを正面玄関自動ドアに移設
- ・中央図書館 車いす買い替え
- ・東図書館 BIBLA にロールスクリーン設置、トイレにオートソープを設置
- ・西図書館 IC カードリーダーを正面玄関自動ドアに移設
- ・西図書館 ドアフォン取り換え、防犯カメラ増設
- ・西図書館 3F 語学自習室の ICE 端末入替 (情報メディア教育研究センター)
- ・霞図書館 椅子の木枠修理 (138 脚)、座面張替 (64 脚)、新たに 7 脚購入
- ・東千田図書館 閲覧室椅子の木枠修理 (90 脚)

1-5. 図書館施設の活用

図書館の開館時間は次の通り。2019 年度は東・西・霞図書館の改修のため開館日数・開館時間数ともに減少した。2020 年度は新型コロナウイルス感染症流行のため、臨時閉館・時間外開館の短縮等をおこなったため開館日数・開館時間数ともに大幅に減少した。2021

年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため緊急事態宣言やまん延防止等重点措置がおこなわれたが、図書館では平日の臨時休館は実施せず、県や大学の要請の範囲内でできるだけ開館をおこなった（感染状況に応じて、時間外開館の中止、土日の臨時閉館を実施した）。この結果として開館日数・開館時間数ともに以前の水準に回復しつつある。ただ、図書館の入館者数は以前の水準まで戻っていない。今回の感染症の流行により、人々の行動様式に大きな変化が起こったといわれているが、その影響は現時点ではよくわからない。

開館時間		授業期間			休業期間		
		平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜
東 広 島	中央	8:30-22:00	10:00-20:00	10:00-20:00	8:30-17:00	閉館	閉館
	東	8:30-21:00	10:00-17:00	閉館	8:30-17:00	閉館	閉館
	西	8:30-21:00	10:00-17:00	閉館	8:30-17:00	閉館	閉館
広 島	霞	8:45-21:00	10:00-17:00	10:00-17:00	8:45-21:00	10:00-17:00	10:00-17:00
	東千田	8:30-22:00	13:00-19:00	13:00-19:00	8:30-21:00	13:00-19:00	閉館

※祝日及び年末年始（12/28-1/4）は休館（中央図書館は授業期・祝日を試行開館）

※霞図書館の8月及び3月の土日は閉館、12月中旬～2月末の土日祝日は9:45-21:45

		年間開 館日数	平日 日数	土曜開 館日数	休日開 館日数	時間外開 館時間数	年間開 館時間	入館 者数
東 広 島	中央	296	232	30	34	1,328	3,286	353,627
	東	263	233	30	0	726	2,707	20,852
	西	258	228	30	0	802	2,737	87,222
広 島	霞	298	231	33	34	2,445	4,285	100,721
	東千田	305	231	45	29	1,363	3,238	28,364
計		1,420	1,155	168	97	6,664	16,253	590,786
平均		284				1,333	3,251	

新型コロナウイルス感染症の流行拡大防止のため、図書館では2020年3月以降、政府の緊急事態宣言・まん延防止等重点措置、広島県の対応を受けて広島大学危機管理対策本部会議から出された対応方針に基づいて次の対応をおこなっている。

- ・臨時閉館、短縮開館（時間外開館の制限）
- ・体調不良者の入館自粛依頼、不織布マスクの着用依頼
- ・入退館時のICカードによる認証、学外者の利用は事前予約制
- ・アルコール消毒機の設置、換気の励行

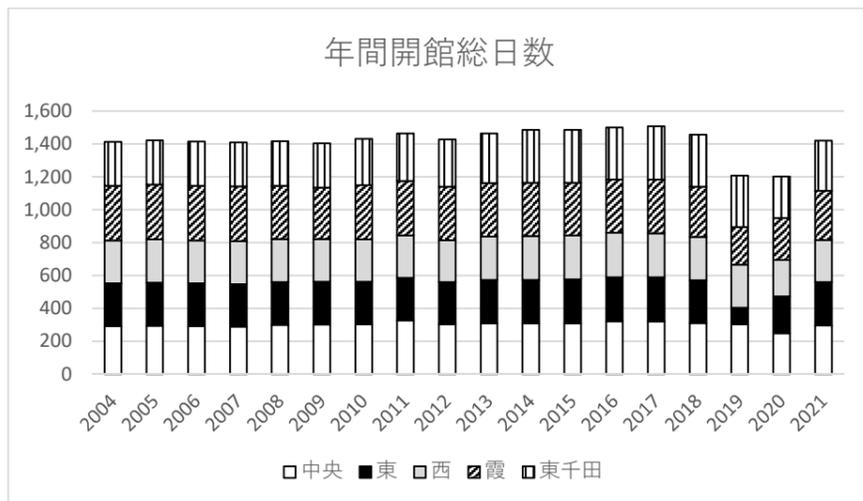


図5-1.年間開館総日数（2004-2021年度）

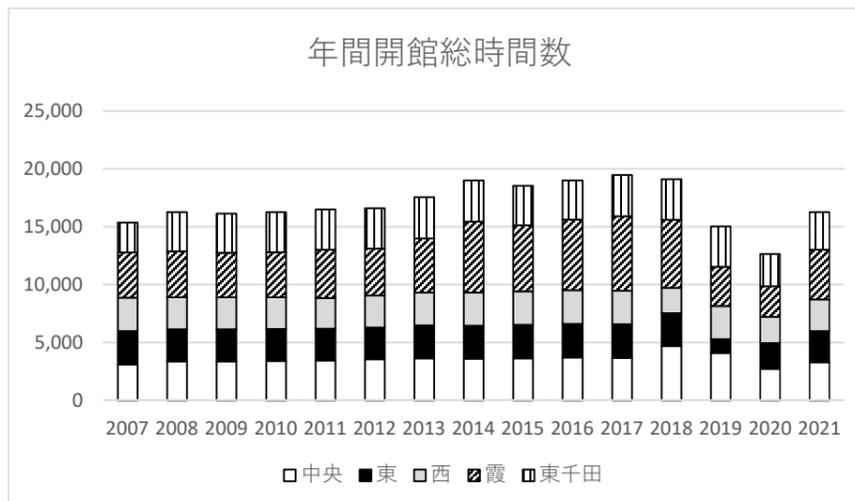


図5-2.年間開館総時間数（2007-2021年度）

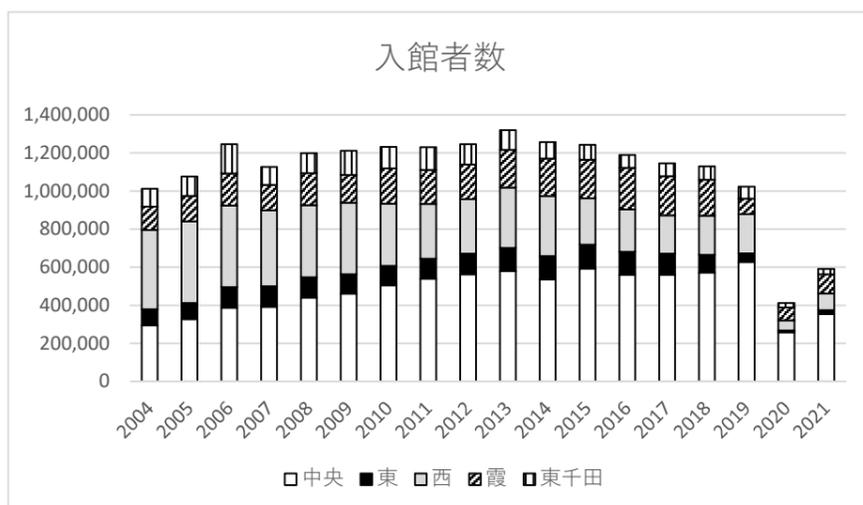


図5-3.入館者数（2004-2021年度）

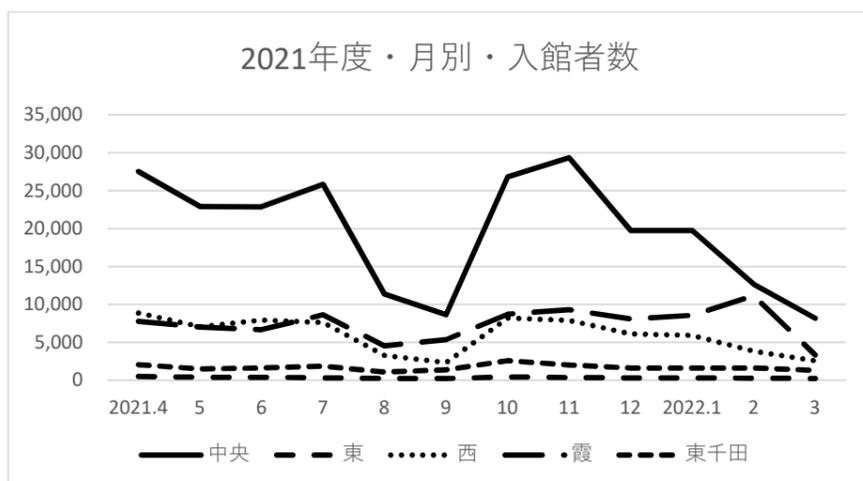


図5-4.2021年度の各館の月別入館者数

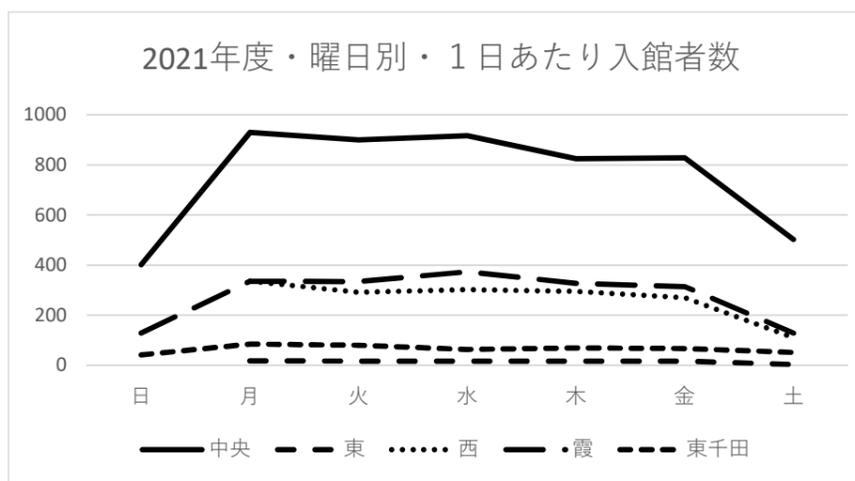


図5-5.2021年度の各館の曜日別・1日あたり入館者数

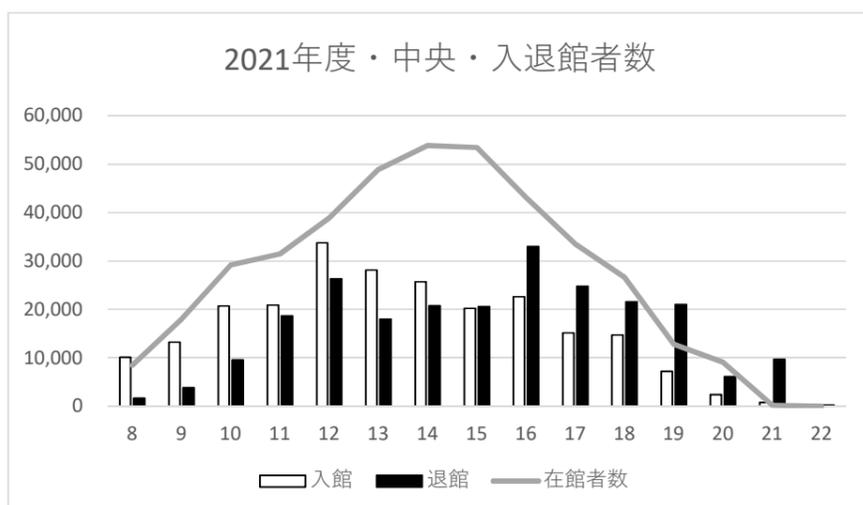


図5-6.2021年度の中央図書館の時間帯別 入館・退館・在館者数

- ・検温モニター等の設置（中央図書館、東図書館、西図書館、霞図書館、東千田図書館）
- ・座席の間引き、グループ学習室の利用制限
- ・中央図書館 BIBLA グループスペースの座席配置変更（グループ学習形態から個人利用へ）
- ・図書除菌機の設置（西図書館、霞図書館）

図書館の出入口に IC カードによる認証を導入したことで、これまでよりも詳細な利用者の動きを知ることができるようになった。具体的には時間帯別・曜日別の入館者数・退館者数が把握できるようになった。日常的な印象として把握していたことが、数字で裏付けられたともいえる。ただ、現在の IC カード認証には課題がある。これまで入館者数を測定していた場所と IC カード認証装置の設置場所が違うこと、必ずしも全ての人が認証を経て入退館するわけではない（目の前の扉が開いていたら、わざわざ自分のカードを認証装置にかざすことなく入退館することなどから、既存の入館者数統計との間に齟齬が生じている。今回の結果はあくまでも「傾向」として捉えることが適切である。

2021 年度の中央図書館・西図書館の閲覧個室・グループ閲覧室、中央図書館のライブラリーホール、地域・国際交流プラザの利用は次の通り。

	閲覧個室	グループ閲覧室
中央	延べ 13,684 人（26 室）	107 回延べ 799 人（9 室）
西	延べ 478 人（4 室）	感染防止のため休止（13 室）

	ライブラリーホール	地域・国際交流プラザ
中央	9 回	2 回（延べ 19 日）

中央図書館には 87 万冊収容可能な自動書庫が設置されている。利用実績は次の通り。

	2020 年度	2021 年度
利用者からの請求回数	1,382	1,450
出庫冊数（事務用含む）	4,285	4,742

1-6. 図書館の活用を促す取り組み

1-6-1. 図書館の利用方法等の案内（参考業務）

図書館では各館の窓口で図書館の利用方法等を案内している。各館の窓口で受けた質問数は次の通り。なお、東図書館と西図書館は参考業務を実施していない。

		合計	利用者別内訳			内容別内訳			
			学内者		学外者	文献所 在調査	事項 調査	利用 指導	その 他
			教職員	学生					
東 広 島	中央	2,255	501	1,483	271	1,477	243	534	0
	東	-	-	-	-	-	-	-	-
	西	-	-	-	-	-	-	-	-
広 島	霞	1,619	324	1,052	243	971	162	486	0
	東千田	502	106	281	115	321	45	136	0
計		4,376	931	2,816	629	2,769	450	1,156	0

1-6-2. 情報リテラシー教育

新入生に図書館の基本的な利用方法等を説明するため、図書館利用ガイダンスをおこなっている。また、様々なデータベース等の利用方法等を説明するため、各種講習会、出版社の講師を招いたセミナー等をおこなっている。2021年度の実施概要は次の通り。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、留学生・院生・編入生向け図書館オリエンテーション動画、図書館ミニガイダンス動画を図書館ウェブサイトから公開した。

		図書館利用ガイダンス				文献検索ガイ ダンス		その他講習 会		合計	
		新入生対象		新入生以外							
		回 数	延参 加者	回 数	延参 加者	回 数	延参 加者	回 数	延参 加者	回 数	延参 加者
東 広 島	中央	7	2,523	3	70	30	544	0	0	40	3,137
	東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広 島	霞	0	0	0	0	4	81	0	0	4	81
	東千田	2	35	0	0	4	53	0	0	6	88
計		9	2,558	3	70	38	678	0	0	50	3,306

1-6-3. 広報

図書館から利用者への広報として図書館ウェブサイトとTwitterを運用している。以前は「図書館報」等を発行していたが、今は紙媒体の発行をとりやめている。

図書館ウェブサイト <https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?lang=japanese>

Twitter 2012.5～（継続） https://twitter.com/HiroshimaU_Lib

1-6-4. 企画展示

図書館の所蔵する多様な蔵書の利用を促進するため、様々な切り口で企画展示をおこなっている。2021年度に各館でおこなった企画展示の内容は次の通り。

- ・中央図書館 展示「リーダーを目指す人にすすめる古典七〇」(10/18～)
- ・西図書館 第24回企画展示「物事には理由(わけ)がある」(9/1～11/25)
- ・霞図書館 展示「リーダーを目指す人にすすめる古典七〇」(10/18～)
- ・東千田図書館 第10回企画展示「児童図書室にもあります」(9/7～)

1-6-5. 学生協働 (HULS はるす)

HULS (Hiroshima University Library Supporter) は「図書館を人と人との架け橋に」をモットーに2015年度から活動している広島大学図書館の学生サポーターである。活動内容は、選書(図書館に置く本の選定)、小展示、オープンキャンパスイベント、ブックパーティー(読書会)ほか、職員と協力して活動をおこなっている。2021年度の活動は次の通り。

- ・HULS オンラインブックパーティー (4/30)
- ・HULS オンラインビブリオバトル (10/24)
- ・中央図書館 HULS 第46回小展示『ちょっと寄り道 個性的な本と出会おう』(8/2～1/25)
- ・中央図書館 HULS 第47回小展示『同級生の本たち』(1/26～)
- ・西図書館 HULS 「特別企画! 第11回広大生が選んだ本」(12/6～4/26)

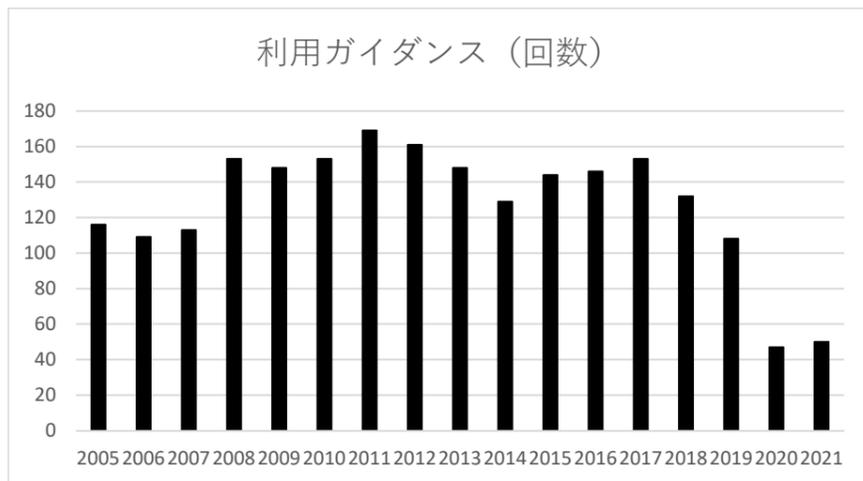


図6-1.利用ガイダンス（回数）

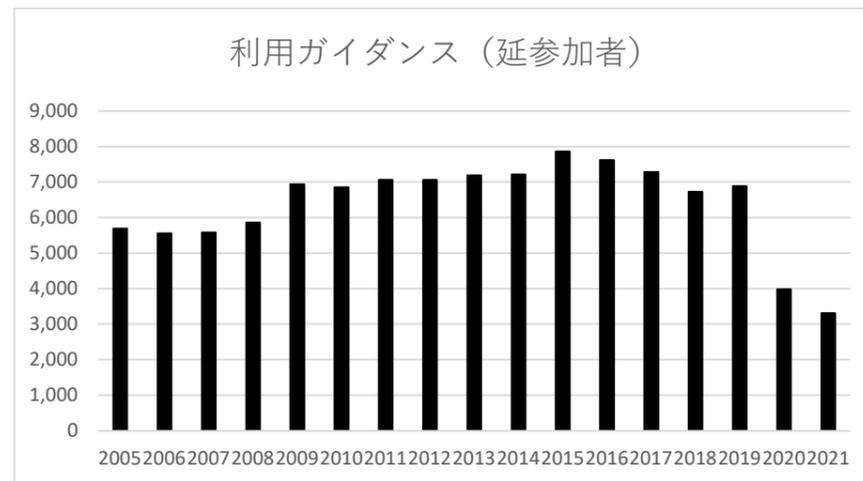


図6-2.利用ガイダンス（延参加者）

2. 研究支援

2-1. 電子的学術情報資料の整備

2021年3月12日の役員会で第4期中期目標期間（2022～2027年度）における「電子的学術情報資料の整備について」が承認された。また、「全学研究用」の資料の整備について、2020年9月に設置した広島大学電子ジャーナル等整備検討ワーキングで9回にわたって議論をおこなった。

全学研究用の電子的学術情報資料は、次の区分に分けて整備している。

- A1) 全分野を網羅する主要学術出版社の電子ジャーナルパッケージ
- A2) 全分野を網羅する総合的な文献情報データベース、ポータルサイトなど
- A3) 人文科学、社会科学、理工学、生命科学の各分野共通に、特定部局を超えて広く利用される電子ジャーナルパッケージ、文献情報データベース及び全文データベースなど
- A4) その他、大学として必備であると判断したトップジャーナルなど

全学研究用・電子的学術情報資料

	区分		分野	パッケージ名など
1	EJ	A1	総合	Elsevier Science Direct
2	EJ	A1	総合	Oxford University Press
3	EJ	A1	総合	SpringerLINK
4	EJ	A1	総合	Wiley Online Library
5	EJ	A3	化学	ACS(American Chemical Society)
6	EJ	A3	物理	AIP(American Institute of Physics)
7	EJ	A3	物理	APS(American Physical Society)
8	EJ	A3	科学	arXiv
9	EJ	A3	生命科学	Cell Press
10	EJ	A3	人文・社会科学	JSTOR Art & Science
11	EJ	A3	数学・統計学	JSTOR Mathematics & Statistics
12	EJ	A3	医学	LWW Fixed 50
13	EJ	A3	生命科学	Nature 関連誌等（生命科学）
14	EJ	A3	理工	Nature 関連誌等（理工学）
15	EJ	A3	数学	Project Euclid
16	EJ	A3	化学	RSC(Royal Society of Chemistry)
17	EJ	A3	物理	SCOAP3
18	EJ	A3	生物	UniBio Press
19	EJ	A3	物理	日本物理学会欧文誌
20	EJ	A3	医学	メディカル・オンライン

21	EJ	A4	科学	Nature 本誌
22	EJ	A4	科学	Science
23	DB	A2	総合	Academic Search Complete
24	DB	A2	総合	InCites Journal & Highly Cited Data
25	DB	A2	総合	Proquest Dissertations & Thesis
26	DB	A2	総合	SFX
27	DB	A2	総合	Web of Science
28	DB	A3	法律	Beck-Online
29	DB	A3	経済・経営	Business Source Complete & Econlit with Full Text
30	DB	A3	教育	ERIC
31	DB	A3	科学	JDreamIII
32	DB	A3	数学	MathSciNet
33	DB	A3	言語・文学	MLA International Bibliography
34	DB	A3	心理	PsycINFO & PsycARTICLES
35	DB	A3	化学	SciFinder-n
36	DB	A3	人文・社会科学	TOC Premier
37	DB	A3	法律	Westlaw Next
38	DB	A3	医学	医学中央雑誌
39	DB	A4	総合	CLOCKSS

なお、全学で導入している電子ジャーナル・データベース・電子書籍の利用可能タイトル数等は次の通り。

電子資料	電子ジャーナル（種類数）			電子書籍 タイトル数	データベース （種類数）
	出版社	その他	計		
国内	6	1,527	1,533	3,205	17
海外	7,471	15,919	23,390	5,232	27
計	7,477	17,446	24,923	8,437	44

2-2. 電子的学術情報資料の活用

電子ジャーナルの2021年の論文ダウンロード件数は1,823,557件、データベースの2021年の検索回数は623,737回だった。

データベースの検索回数が2017年に大きく減少した。これは国立情報学研究所が運営していた電子図書館事業(NII-ELS)の終了に伴い、CiNii 機関定額制が終了したためである。

データベースの検索結果等から電子ジャーナルのダウンロードページ等に自動的に案内するシステムとしてリンクリゾルバ（システム名はSFX）を導入している。データベースの検索結果表示画面等で「Find it Full Text @HU」ボタンを押すことで、文献の入手方法を提案する「中間窓」が表示され、そこに示された選択肢から適切な文献の入手方法を選択することができる。このシステムを活用することで、2021年度は110,364回の文献入手に関する問合せに対して自動的に対応したことになる。

	2017	2018	2019	2020	2021
中間窓表示回数	31,883	384,810	236,628	118,487	110,364
文献入手方法選択回数	20,420	224,551	141,789	71,366	60,646

2-3. 学術情報リポジトリ <https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/ja>

大学の教育研究成果を広く公開するため、学術情報リポジトリを2006年10月6日に正式公開した。2013年度以降、博士論文のインターネット公表が義務化されたことに伴い、学術情報リポジトリに収録することになった。2017年度には広島大学オープンアクセス方針を策定している。なお、2021年度末現在の収録数及び2021年度の増加数は次の通り。紀要論文が全体のほぼ2/3を占めている。

なお、2014年10月にシステムを更新したこと、更新に際して教育研究成果物に特化するため、特殊コレクション類を除外したことにより登録数が大きく減少した。また、ロボットによるダウンロード数を除去したため、ダウンロード回数も大きく減少した。

収録数	計	学術雑誌 論文	学位論文	紀要論文	会議発表 論文	会議発表 資料	図書
累計	34,353	6,735	3,433	22,029	354	412	331
増加数	1,328	295	360	629	3	4	9

収録数	テクニカル ポート	研究報 告書	一般雑 誌記事	プレパ リ ント	教材	デー タ・デ ータベース	ソフトウ ェア	その他
累計	3	449	123	11	90	17	0	366
増加数	0	4	0	0	2	5	0	17

2-4. 広島大学出版会 <https://www.hiroshima-u.ac.jp/press>

広島大学出版会は、本学における教育研究の成果の社会に対する普及を図るとともに、これをわかりやすい形に変えて社会に提供することにより、学術文化の振興に寄与することを目的に、学術書・教科書・教養書等を刊行している。

既刊42冊。最寄りの書店（地方・小出版流通センター扱い）、Amazon、広島大学消費生

活協同組合でも取り扱っている。また、一部の書籍は Maruzen eBook Library, KinoDen で利用できる。

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
刊行点数	4	1	1	1	2	7

2-5. ライティングセンター (WRC) <https://www.hiroshima-u.ac.jp/wrc>

ライティングセンターは、学部生から大学院生・教員まで、段階に応じたアカデミックライティングスキルの向上を支援することにより、本学の教育・研究の総合的な機能強化を実現するために中央図書館 1F に設置されている。2021 年度はオンラインでライティング指導をおこなったほか、多様なワークショップをおこなっている。

2-5-1. ライティング相談

大学院生のライティングチューターが日本語と英語の学術文章（レポートや授業課題、卒業論文、修士論文、博士論文等）を作成するための相談に応じている。

	2017	2018	2019	2020	2021
件数	1,444	1,041	545	85	124

2-5-2. 研究力強化に資する英文校正費一部助成制度

原則として Web of Science Core Collection, Scopus に収録されているジャーナル等への投稿済英語論文の英文校正費を半額助成（上限 3 万円）している。

	2017	2018	2019	2020	2021
件数	334	310	427	573	564
総額	6,935,993	6,015,018	7,903,966	11,174,855	10,996,567
(平均)	20,766	19,403	18,510	19,502	19,497

2-5-3. 学内発行雑誌の英文抄録校正費補助

人文社会科学系の研究成果の発信を主目的として、学内発行雑誌掲載論文の英文抄録と英文タイトル作成に係る校正費を全額補助している。校正費を補助した学内発行雑誌は広島大学学術情報リポジトリから英文抄録を公開している。

	2017	2018	2019	2020	2021
件数	148	140	118	122	155
総額	222,000	210,000	185,634	136,493	170,057
(平均)	1,500	1,500	1,573	1,119	1,097

2-5-4. 英語論文作成相談

ライティングセンター専任教員と、ライティング・アドバイザー・フェローが、英語学術論文や学会抄録を作成するための相談に応じている。

	2017	2018	2019	2020	2021
件数	129	182	437	482	419

2-5-5. オンラインワークショップ

様々なテーマでワークショップをおこなっている。

	2020	2021
延参加者数	670	547

オンラインワークショップの内容 (2021年度)	延参加者数	摘要
「剽窃防止ソフト iThenticate 講習会」	62	日本語 49+英語 13
「効果的な論文タイトルの付け方」	13	
オンラインセミナー「臨床医学論文の書き方」	108	
「ハゲタカジャーナルに注意」	115	日本語 84+英語 31
「経済学・経営学のための英語論文の書き方」	5	
オンラインセミナー「生命科学論文の書き方 update」	181	
「[母語でない英語]で学術論文を書くということ」	63	
計	547	

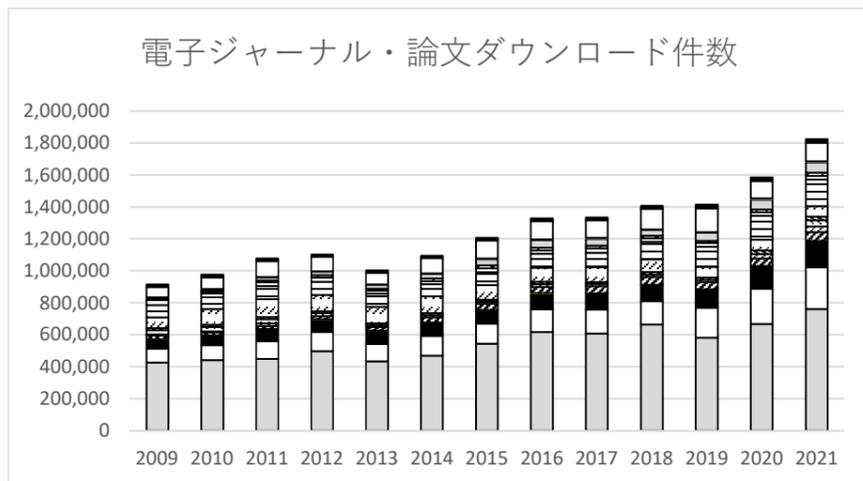


図7-1.電子ジャーナル・論文ダウンロード件数

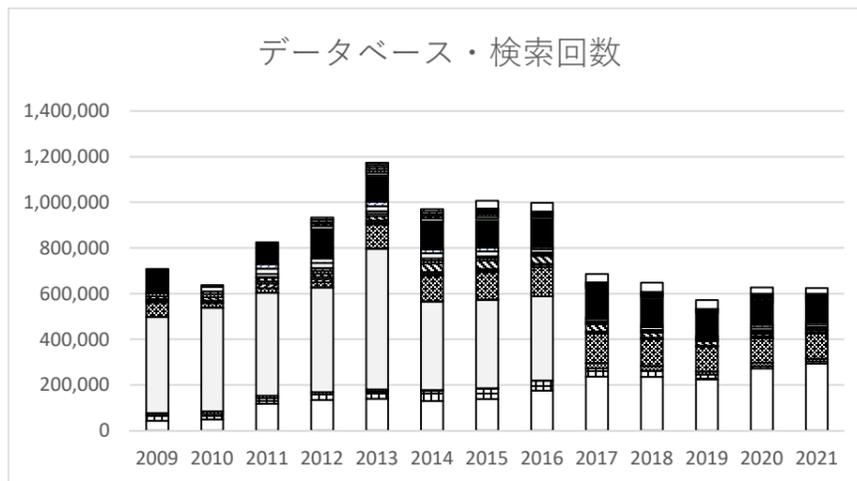


図7-2.データベース・検索回数

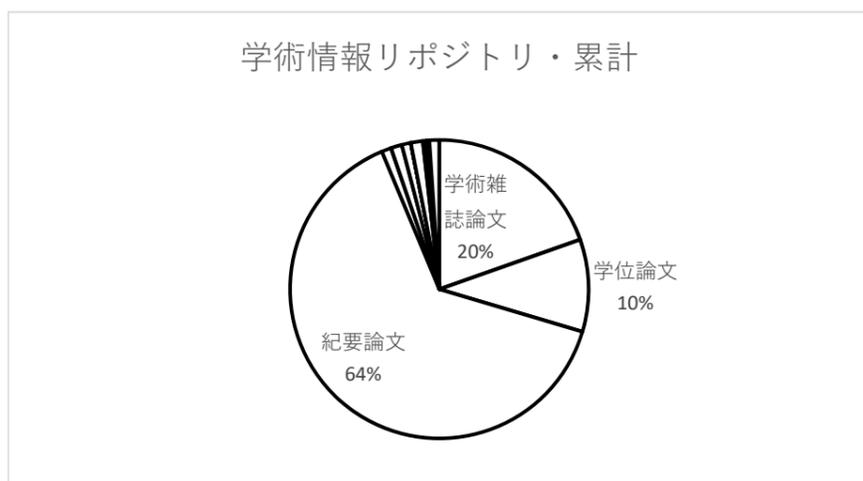


図7-3.学術情報リポジトリ 累計収録数

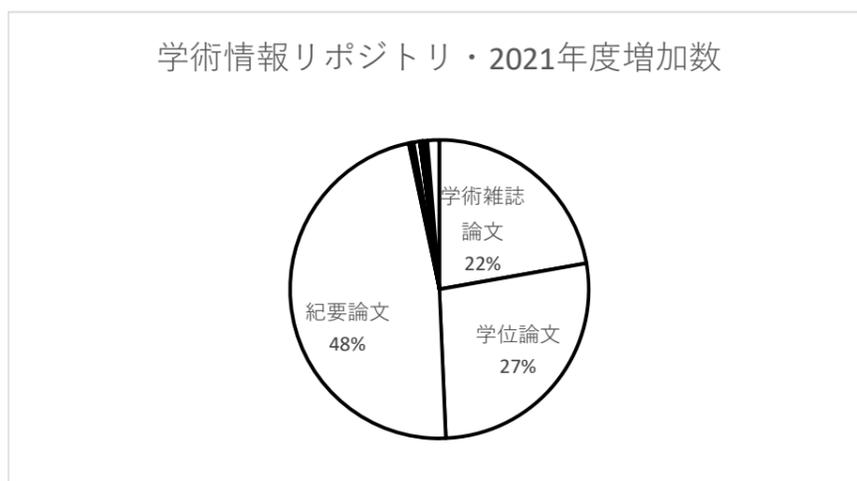


図7-4.学術情報リポジトリ 2021年度増加数

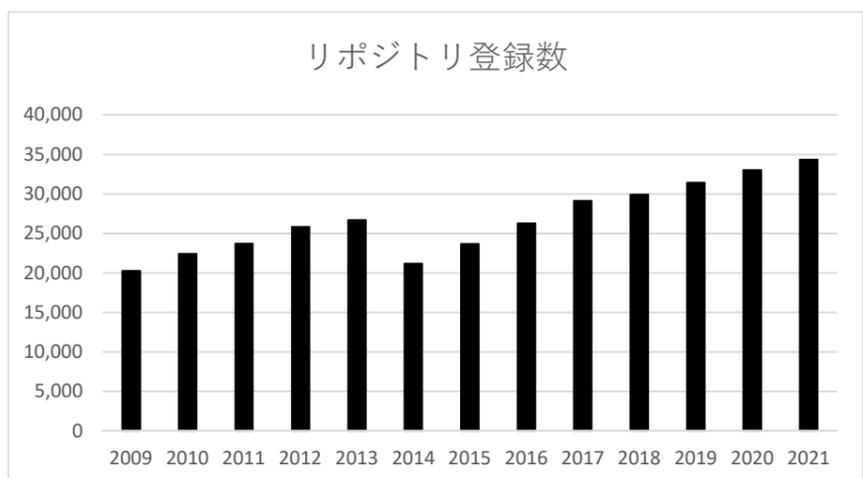


図7-5.学術情報リポジトリ 登録累計数（2009-2021年度）

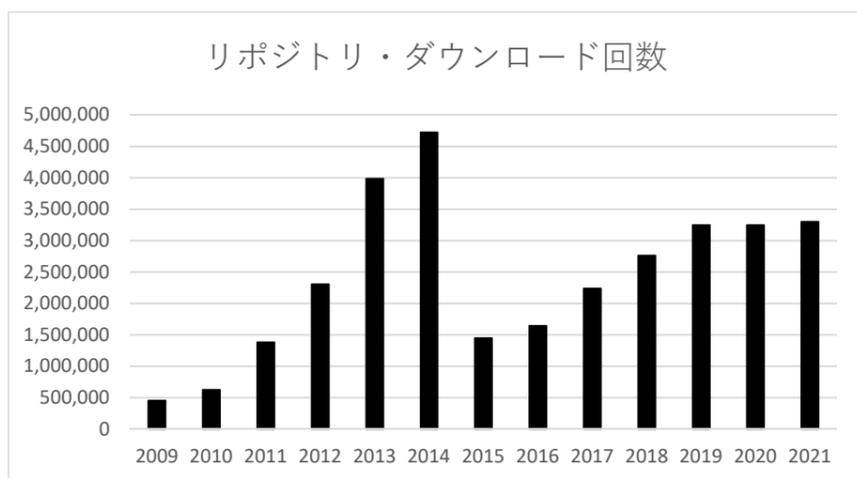


図7-6.学術情報リポジトリ ダウンロード回数（2009-2021年度）

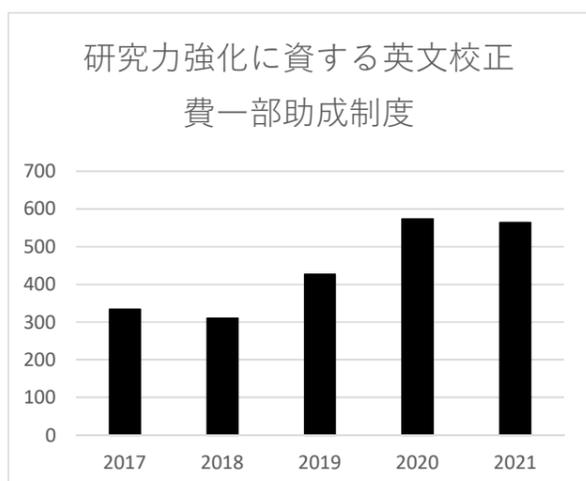


図7-7.ライティングセンター 英文校正費一部助成制度

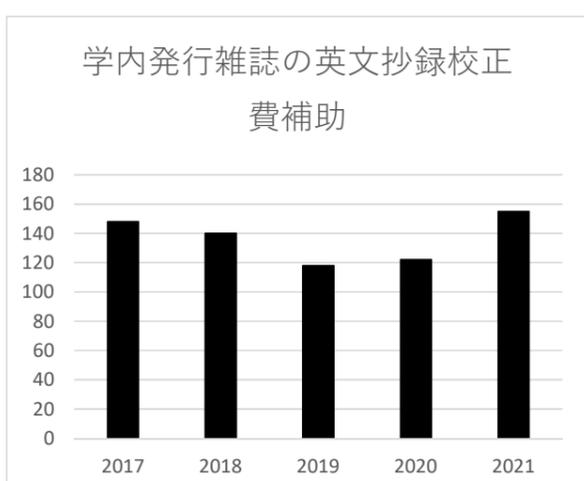


図7-8.英文抄録校正費補助

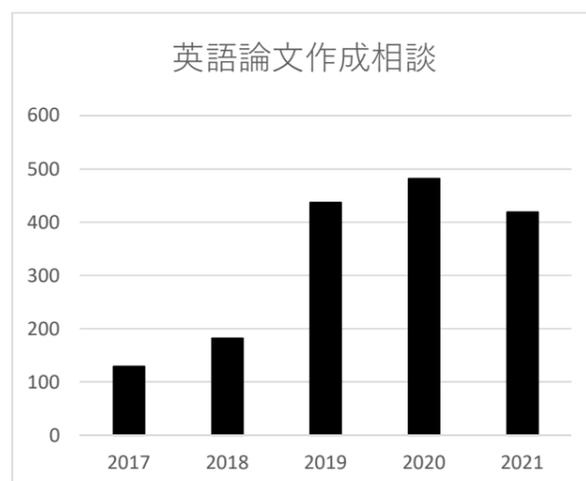


図7-9.英語論文作成相談

3. 社会貢献

3-1. 学外者の利用

2021年度の学外者の利用登録者数は439名、貸出冊数は4,958冊であった。新型コロナウイルス感染症の流行防止のため、大学の方針に基づき、学外者の利用を予約制とせざるを得ないため、利用が大きく減少している。

	2017	2018	2019	2020	2021
利用登録者数	477	483	839	148	439
貸出冊数	13,569	12,221	10,765	2,870	4,958

3-2. デジタルアーカイブ

貴重資料の保存と利用を両立するため、次のデジタルアーカイブを構築し、公開している。主な資料は次の通り。なお、利用統計はウェブサイトの利用統計と同様の理由により、一部を除き取得していない。

デジタルアーカイブの利用	2021年度
教科書コレクション	1,294,323
原爆被ばく関連資料DB	9,231
中国五県土地・租税資料文庫	933

・広島大学図書館デジタルアーカイブ <https://dc.lib.hiroshima-u.ac.jp/da/ja>

国際規格 IIIF に対応したデジタルアーカイブ。2022年3月現在、主に室町時代後期から江戸時代中期にかけて製作された、絵入りの写本である奈良絵本を公開している。

・教科書コレクション

広島大学図書館に所蔵されている教科書の中から、江戸時代の寺子屋で使用された「往来物」から1951（昭和26）年までのものを画像化して公開している。約5,600冊を収録。

・原爆被ばく関連資料データベース

広島大学原爆放射線医科学研究所が所蔵する原爆・被ばくに関する次の資料を電子化している。米国陸軍病理学研究所(AFIP)が収集した病理学写真等、広島大学原爆放射線医科学研究所附属国際放射線情報センターが所蔵する原爆・被ばく関連の図書・雑誌の書誌情報、原爆被爆物理試料データ、米国及び旧ソ連核実験実施記録データ。

・中国五県土地・租税資料文庫（広島県分）

広島大学図書館で収蔵する「中国五県土地・租税資料文庫」の中から広島県関連の資料を

電子化して公開している。

3-3. 地域・国際交流プラザ（中央図書館）

中央図書館 1F に 1)広島大学の活動及び歴史の紹介、広報、2)広島大学との交流を目的とした生涯学習活動等の発表の場として、地域・国際交流プラザを設置している。新型コロナウイルス感染症の影響でしばらく展示の開催を見送っていたが、2021年7月1日から受付を再開し、次の2件の展示をおこなった。

- ・文書館オブジェ「あの日」(8/3～8/18)
- ・広島大学アクリル水彩同好会「卒展」(2/14～3/4)

	2017	2018	2019	2020	2021
展示回数	7	11	12	0	2

3-4. 講演会

地域貢献事業の一環として令和3年度広島市立図書館・広島大学図書館連携講演会を2022年3月20日に開催した。

講師：金田一清香先生（先進理工系科学研究科）

演題：「ヘルスマインドによる空間づくり～ヒートポンプによる省エネを交えて～」

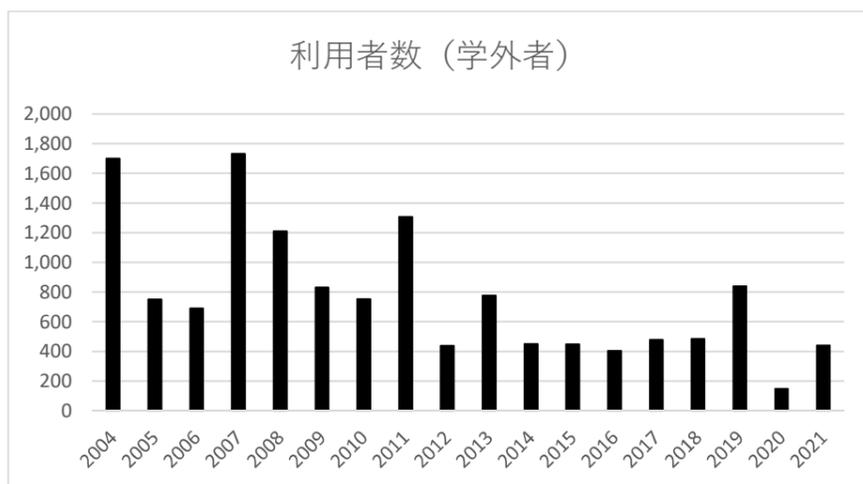


図8-1.利用者数 (学外者)

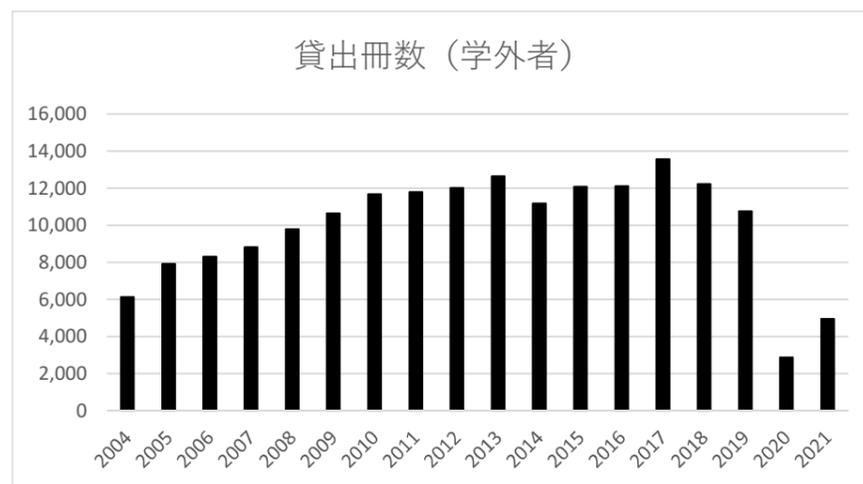


図8-2.貸出冊数 (学外者)

4. 管理運営等

4-1. 組織運営

2021年4月に図書館運営戦略会議と図書館資料選定会議とを統合し、図書館運営会議を設置した。図書館運営会議では、図書館に係る次の事項を審議している。

- (1) 管理運営の基本方針に関する事
- (2) 事業計画に関する事
- (3) 学術情報資料の選定及び整備に係る方針に関する事
- (4) その他図書館の運営に関する事

また、本学に必要な学術情報資料の選定をおこなうため、図書館運営会議に次の部会を設置している。

- (1) 人文・社会科学系専門部会
- (2) 教育科学系専門部会
- (3) 自然科学系専門部会
- (4) 生命科学系専門部会
- (5) 資料選定事務部会

広島大学における研究用電子ジャーナル・データベースについて、第4期中期目標・中期計画期間中の基本整備方針及び選定をおこなうことを目的として、2020年9月に学術・社会連携担当理事の下に電子ジャーナル整備検討ワーキングを設置した。

ワーキングの構成は、理事・副学長1名、図書館長1名、学術院の各専門領域から11名、図書館部長1名である。

2020年度にワーキングを6回開催し、2021年度は第7回を5月6日に、第8回を8月31日に第9回を2月2日におこなった。

図書館に係る日常業務は図書館部図書学術情報企画グループ及び図書学術情報普及グループで対応し、各担当だけでは対応できない業務に対して7つのWGを設置している。判断を要する事項はGL打合せ（週1回開催）、館長打合せ（週1回開催）で協議するとともに情報共有を図っている。また、図書館部内の情報共有を図るため、各グループ内の打合せ（週1回開催）や主査打合せ（月1回開催）をおこなっている。

4-2 図書館運営会議

2021年度の図書館運営会議の議事は次の通り。

- ・令和3年度第1回図書館運営会議（メール会議）2021年4月1日
協議事項 1. 図書館資料選定に係る方針等について

・令和3年度第2回図書館運営会議 2021年10月27日

協議事項 1. 第4期中期目標・計画期間中の年度計画（部局独自）について

報告事項 1. 令和3年度組織目標推進状況について

2. 令和3年度図書館予算執行予定について

3. 法学部移転に伴う東千田図書館拡充について

4. 図書館サービス状況について

5. 中央図書館ネーミングライツの導入について

・令和3年度第3回図書館運営会議 2022年3月18日

協議事項 1. 令和3年度組織目標推進状況について

2. 令和4年度教育用図書購入費配分について

報告事項 1. 部局等における第4期中期目標・中期計画・年度計画について

2. 電子ジャーナル等整備検討ワーキングについて

3. 東千田図書館改修について

4. 令和3年度の図書館活動について

4-3. 予算決算

2021年度の予算決算は別表の通り。運営費交付金の減額に伴い各科目・事業の予算とも減額されており、厳しい状況が続いている。運営費では、備品費・消耗品費・その他の経費を節約することで、施設保守費、委託費（蔵書点検、草刈など）を捻出する形となっている。

電子ジャーナル等経費は図書館予算の76%を占めている。電子的学術情報資料（電子ジャーナル・データベース等の経費）の第4期中期目標期間の上限額が5.3億円とされたことから、継続的に価格が上昇している電子的学術情報資料の第4期中の大幅な見直しが不可避となっている。

2021年10月1日から中央図書館1F新聞コーナーのネーミングライツを締結した（株式会社日本クライメイトシステムズ・2021/10/1～2024/9/30）。

4-4. 広島大学図書館活動助成金

広島大学図書館活動助成金は、図書館の学術資料の整備や図書館の地域住民の方々へのサービスの一層の充実を図るため、2005年2月に創設された寄附金制度である。2017年度に本助成金の寄附の種類を見直し、図書館設備にも利用できるようになった。本学学生及び教職員の教育・研究を支援するとともに、学術資料の整備や地域住民の方々へのサービスを充実させ、地域社会の生涯学習ニーズに応えていきたい。

寄附金の状況、主な事業の実施状況は、毎年、実績報告書を作成し、ウェブサイトから公開している。https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=12042

	科目・事業	予算額	執行額	残額	摘要
資料費	教育用図書購入費	86,849	86,874	-25	
	電子ジャーナル等経費	471,423	469,958	1,465	残額は引き上げ
	小計	558,272	556,832	1,440	
運営 費等	図書館関係経費	24,679	24,106	573	残額は引き上げ
	備品	1,704	1,002		
	消耗品	4,938	3,208		
	施設保守費	2,895	4,916		
	修繕費	6,935	6,344		
	委託費	1,554	3,800		蔵書点検、草刈他
	清掃費	1,994	1,527		
	貸借料	1,864	1,851		複写機他
	その他	2,795	1,458		
	広報関係経費	50	0	50	ネーミングライツ
	教育研究設備費（借料等）	20,738	20,736	2	図書館システム
	自動書庫年間保守	5,859	5,170	689	
	カフェ運営委託業務	455	404	51	la la la café
	リポジトリ事業	838	796	42	
	出版会事業経費	3,880	2,076	1,804	
小計	56,499	53,288	3,211		
寄附金	図書館活動助成金	3,510	1,664	1,846	椅子修理他
	前年度から繰越	2,980			
	入金	530			
合計		618,281	611,784	6,497	

4-5. 職員数

運営費交付金の減額等に伴い職員数は減少を続けている。2021年度の定員内職員数は40年前の半数以下となった。図書館業務の電算化に1972年から取り組むなど、これまで業務効率化のために工夫を重ねてきたが、電子的学術情報資料の増加、アクティブラーニングスペースの整備、学術情報リポジトリの構築、情報リテラシー教育の推進、ライティングセンターの運営など業務内容は拡大しており、図書館利用者へのより細やかなサービスの提供や目録の遡及入力が進捗が遅延するなど課題となっている。

	1971	1981	1991	2001	2011	2021
定員内	50	56	53	42	35	27
契約一般職員等	10	28	28	26.3	24	25.2

※契約一般職員等は、勤務時間数が多様であるため、年間実働時間の合計 1,500 時間を 1 人として換算（日本図書館協会の換算方式と同じ）

4-6. 施設設備

図書館には自動書庫・電動式集密書架・防犯カメラ・入退館システムなど、様々な施設・設備がある。これらの施設・設備は高額であるため、故障した場合に簡単に更新するというわけにもいかない。耐用年数や故障等の発生状況を適宜把握し、適切にメンテナンスしていくことで長期的な利用を図るとともに、計画的な更新計画を策定していく必要がある。

4-7. 他の図書館等との連携

- ・国立大学図書館協会：広島大学は国立大学図書館協会の理事館をつとめるとともに資料委員会電子資料小委員会に委員を 2 名選出している。
- ・国立大学図書館協会中国四国地区協会：広島大学は中国四国地区（加盟 10 館）の地区連絡館を担っている。
- ・中国四国地区大学図書館協議会：1953 年設立。中国四国地区の大学図書館等が加盟している（加盟 65 館）。広島大学は幹事館を担っている。
- ・広島県大学図書館協議会：1970 年設立。広島県下の大学・短期大学及び高等専門学校図書館を会員とする（加盟 25 館）。広島大学は代表幹事館を担っている。
- ・日本医学図書館協会：1927 年設立。国公立の医学・歯学・健康科学・生命科学領域の専門図書館を対象としており、霞図書館が入会している。
- ・法律図書館連絡会：1956 年設立。法律分野の各会員館が法律図書館としての機能をより充実・発展させることを目的として設置されており、東千田図書館が入会している。
- ・JUSTICE 運営委員会委員を 1 名選出している。
- ・JPCOAR 運営委員会委員を 1 名選出している。
- ・これからの学術情報システム構築検討委員会：ワークフロー検討作業部会委員を 1 名選出している。
- ・広島県立図書館との間で相互利用を実施
- ・広島市立図書館との間で相互利用、連携講演会を実施
- ・東広島市立図書館との間で相互利用を実施

5. その他

5-1. 2021年度の主な動き

・新型コロナウイルス感染拡大対策時における利用・開館状況

令和3年度も、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置等実施されたが、図書館は平日の臨時休館は実施せず、県や大学の要請の範囲内でできるだけ利用できるようサービスを実施した。

・第4期中期目標期間に向けた電子的学術情報資料整備の具体化

第4期中期目標期間（2022～2027年度）における電子的学術情報資料の整備について、具体的な対応を進めた。

5-2. 理念と目標（2006年3月 図書館長期ビジョン委員会）

理念 Policies

広島大学図書館は、本学の建学の精神及び理念を実現するため、教育・研究を支援する基盤的組織として、図書・雑誌等の電子的資料を含む学術情報資源を収集・整理・保存し、学生及び教職員等の利用者に提供することを使命とする。

また、本学で生成される学術情報を国内外に発信することで、本学の教育・研究の進展に寄与し、その成果をとおして国内外、地域社会における学術研究の進展及び文化の振興に貢献する。

目標 Goals

1. 利用し易い図書館を目指す。
2. 利用される図書館を目指す。
3. 学術情報の収集機能の一層の強化を図る。
4. 従来からの紙媒体による学術情報に加えて、電子ジャーナル等電子的学術情報を一層充実させ、ハイブリット・ライブラリを構築する。
5. 学生の自学自習活動のための快適でゆとりのある学習環境を提供する。
6. 電子的図書館機能の充実・強化を図る。
7. 学内で生成される研究成果情報を発信するポータル機能を担う。

5-3. 沿革 (抄)

- 1902(M35) 広島高等師範学校図書館開設
- 1929(S4) 広島文理科大学設置により広島文理科大学附属図書館と改称
- 1945(S20) 原子爆弾被災 (建物および蔵書数 27 万冊のうち 19 万冊焼失)
- 1949(S24) 国立学校設置法の公布により、広島大学附属図書館と改称
- 1950-1961(S25-36) この間、本館のほか、教育学部、同東雲分校、同三原分校、同福山分校、政経学部、工学部、水畜産学部、皆実分校(教養部)の 8 分館、医学部分館、理論物理学研究所分室、原爆放射能医学研究所分室を設置。(以後、統廃合を実施) 東千田地区に本館竣工(第 1 期) 第 2 期 1959 第 3 期 1962
- 1972(S47) 電算機による業務機械化開始
- 1979(S54) 学術文献情報サービス(HUNDRED)開始
- 1980(S55) 図書館業務システムを自主開発
- 1982(S57) 工学部分館が東広島市へ竣工移転 (統合移転の開始)
- 1987(S62) 学術情報センター (現国立情報学研究所) と接続、目録登録開始
- 1992(H4) 東広島キャンパス中央図書館での業務開始
- 1993(H5) 西図書館竣工
- 1995(H7) 中央図書館竣工・移転記念式典開催
- 2001(H13) 芸予地震による附属図書館罹災
「斯波文庫漢籍目録」第 36 回国立大学図書館協議会賞を受賞
- 2002(H14) 広島大学附属図書館百周年記念式典開催
- 2004(H16) 国立大学法人化に伴う事務機構改革 (「広島大学図書館」に名称変更)
- 2006(H18) 「広島大学学術情報リポジトリ」公開
- 2010(H22) BIBLA【中央図書館】オープン
- 2013(H25) ライティングセンター開設 BIBLA-Kasumi【霞図書館】オープン
- 2014(H26) 自動書庫運用開始
- 2018(H30) 中央図書館 1F 玄関ホールに la la la Cafe オープン
- 2019(R1) 東図書館、西図書館、霞図書館改修

編集後記

広島大学図書館では、2003年2月26日から27日にかけて外部評価を実施し、その結果を外部評価報告書としてとりまとめ、2003年3月に発行しています。外部評価報告書には当時の記録に加え、多くの統計資料・実績データ等が含まれています。

2004年度以降は、国立大学の法人化に伴い、毎年度、年度計画に基づいて業務をおこない、その達成度評価をおこなってきました。この間、フレンドリー利用者制度の実施、学術情報リポジトリの公開、ラーニングコモンズ (BIBLA) のオープン、ライティングセンターの開設、自動書庫の運用開始、la la la Cafe のオープン、東図書館・西図書館・霞図書館の改修など、さまざまな取り組みを進めています。

2022年に第4期中期目標期間が始まりました。2024年に広島大学は創立75周年、最も古い前身校である白島学校が設立されてから150周年を迎えます。この節目の年を迎えるにあたり、中期的な視点から図書館の現状を把握し、今後の図書館の在り方を考えるための基礎資料として年次報告を作成しました。

年次報告の構成は、広島大学自己点検・評価規則に規定された基本項目である (1)教育活動 (2)研究活動 (3)社会貢献活動 (4)大学運営活動 を基本的な枠組みとし、大学機関別認証評価の分析項目に基づいて、図書館資料及び施設が適切に整備され、有効に活用されているか、という観点を中心に構成しています。なお、表・グラフ中の数字は特に断りのない限り2021年のものです。

年次報告が今後の図書館活動の発展に資することを期待します。

広島大学図書館

- ・中央図書館 〒739-8512 東広島市鏡山一丁目2番2号
tel.082-424-6214 fax.082-424-6204
- ・東図書館 〒739-8512 東広島市鏡山一丁目4番5号
tel.082-424-6225 fax.082-424-6222
- ・西図書館 〒739-8512 東広島市鏡山一丁目7番2号
tel.082-424-6229 fax.082-424-6223
- ・霞図書館 〒734-8552 広島市南区霞一丁目2番3号
tel.082-257-5902 fax.082-257-5904
- ・東千田図書館 〒730-0053 広島市中区東千田町一丁目1番89号
tel.082-542-6972 fax.082-542-6974
- ・図書館ウェブサイト <https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/>
- ・図書館 Twitter https://twitter.com/HiroshimaU_Lib